

積算ソフト「頂」ver.5 操作マニュアル

株式会社エージェンシーソフト

目次

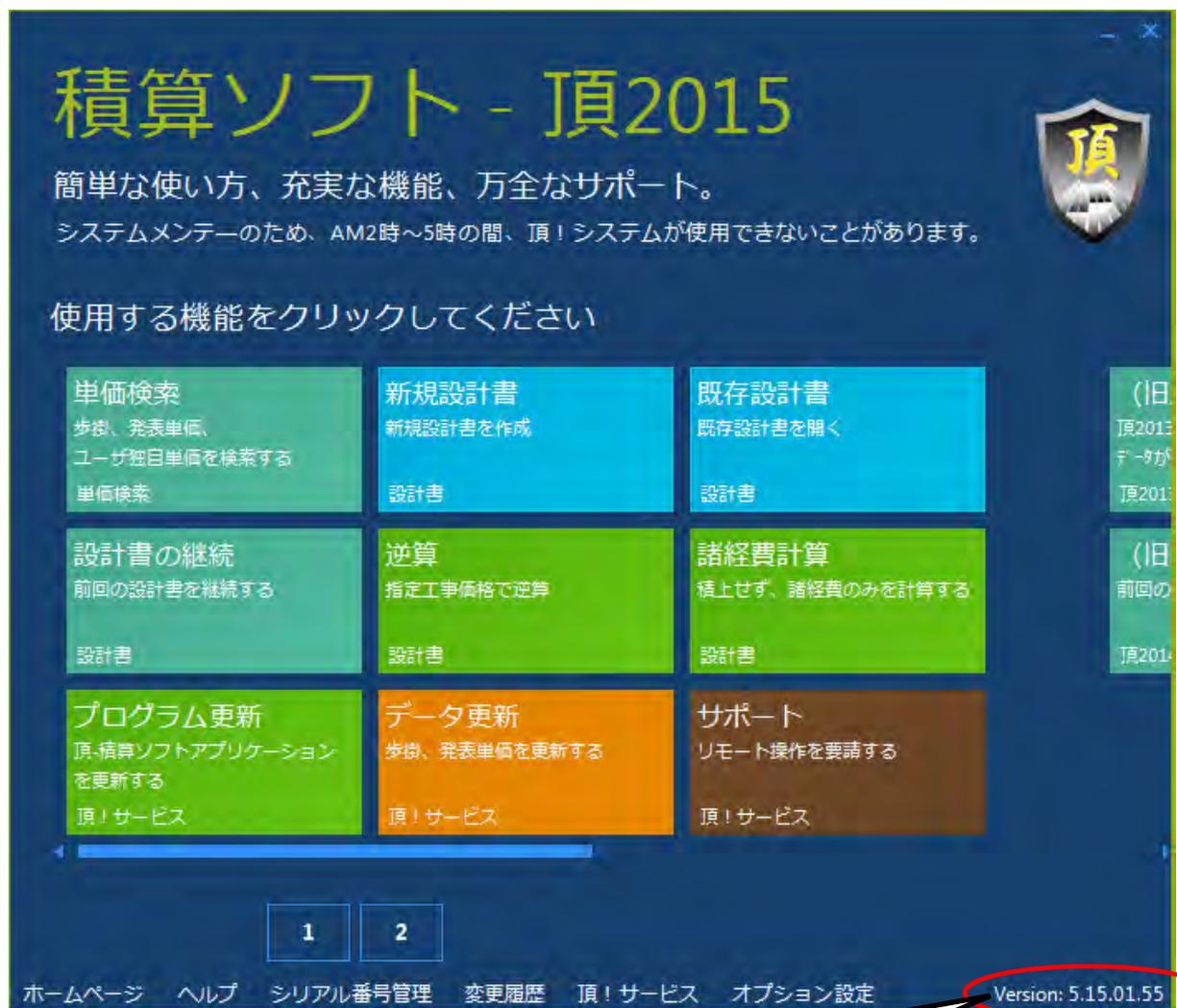
頂の基本操作	4
1.頂を起動する	4
新規設計書の作成	6
1.積算条件の設定	6
2.表紙の入力	8
3.直接工事費の作成	9
3-1 設計書画面	10
3-2 メニューバーの説明	11
3-3 ツールバーの説明	13
3-4 メニューバーの説明	16
3-5 ツールバーの説明	18
4.頂を終了(保存)する	20
5.階層の作成	22
6.内訳の作成	24
7.単価検索からの単価の貼付	27
8.行の削除	29
PDF設計書の取り込み	31
1.ソフト起動	31
2.取り込み手順	32
3.工事費内訳書	33
4.設計書作成の準備	34
5.単価検索の設定	35
設計書作成手順	36
1.単価検索	36
2.施工 pkg について	39
3.ユーザ単価の作成	42
4.ユーザ単価の転送	48

共通仮設費の入力	50
1.共通仮設費積上額	50
2.経費設定	52
3.管材費の設定	57
単価更新機能	61
1. 前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する	61
印刷	65
1. 印刷設定	65

頂の基本操作

1.頂を起動する

デスクトップにある頂のアイコンをダブルクリックすると、下のようなスタートメニュー画面が表示されます。この画面から作業内容を選択して該当するボタンをクリックすると、それぞれ次の画面に進むことができます。



頂のバージョンが表示されています

逆算：直接工事を積み上げる前に、工事価格から直接工事費や共通仮設費などの間接費を逆算させるときに使います。この場合も処分費や管材費（水道工事の場合）及び交通整理員などの共通仮設費の積上額を入力し、工事場所の補正など間接費の各種補正を設定する必要があります。

諸経費計算：直接工事費がわかっている場合に、直接工事費を入力し間接費を自動計算させて工事価格を求める場合に使います。この場合も逆算と同様に共通仮設費の積上げや各種補正の設定が必要です。

頂 - 積算ソフト

簡単な使い方、充実な機能、万全なサポート。

システムメンターのため、AM2時～5時の間、頂！システムが使用できないことがあります。

使用する機能をクリックしてください

単価検索
歩掛、発表単価、
ユーザ独自単価を検索する
単価検索

新規設計書
新規設計書を作成

既存設計書
既存設計書を開く
設計書

設計書の継続
前回の設計書を継続する
設計書

設計書の再算
指定工事価格で逆算
設計書

設計書の再計算
諸経費のみを計算する
設計書

プログラム更新
頂！積算ソフトアプリケーション
を更新する
頂！サービス

データ更新
歩掛、発表単価を更新する
頂！サービス

サポート
リモート操作を要請する
頂！サービス

プログラム更新のサイン

データ更新のサイン

★重要★プログラム更新：ソフトのプログラムに更新がある場合はプログラム更新ボタンの右上に赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。インターネットに接続していないと更新はできません。

★重要★データ更新：県発表の資材単価などのデータに更新がある場合はデータ更新の右上に赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。インターネットに接続していないと更新はできません。

サポート：リモート操作を要請するときに使います。インターネットに接続していないとリモート操作はできません。

新規設計書の作成

1.積算条件の設定

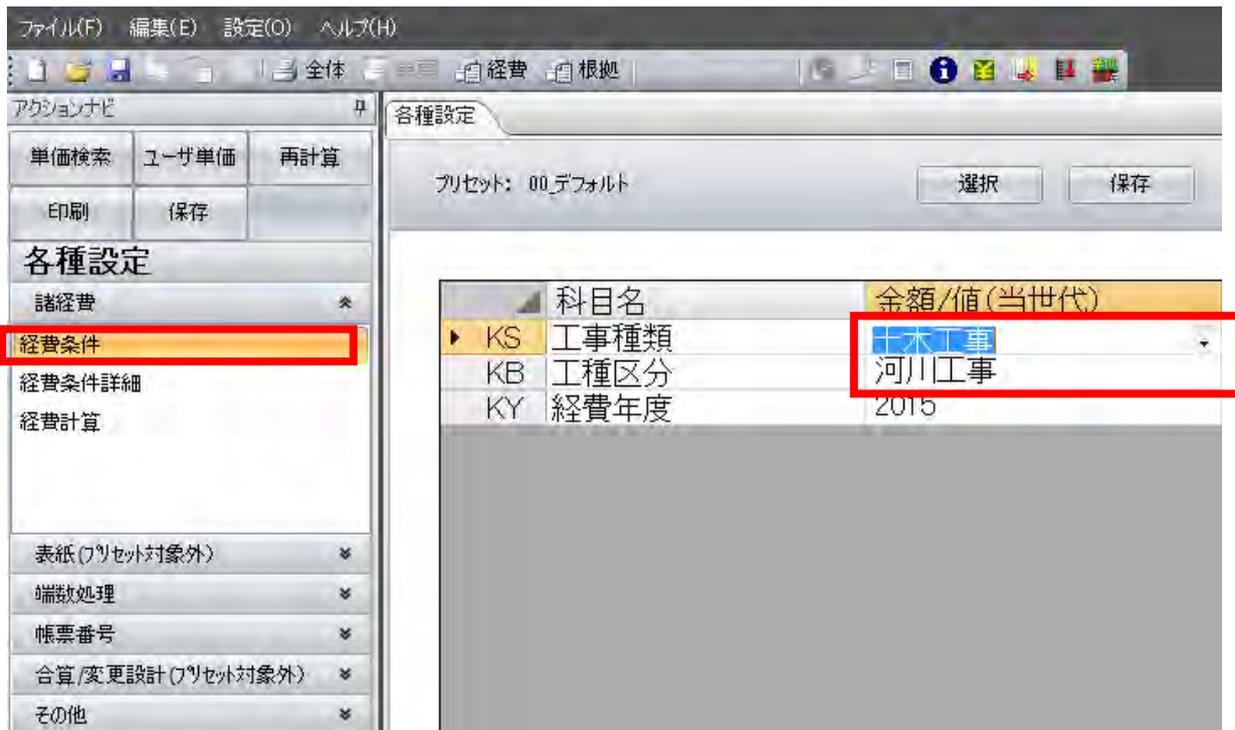
「新規設計書の作成」を選択します。

頂 - 積算ソフト

簡単な使い方、充実な機能、万全なサポート。
システムメンテナーのため、AM2時～5時の間、頂！システムが使用できないことがあります。

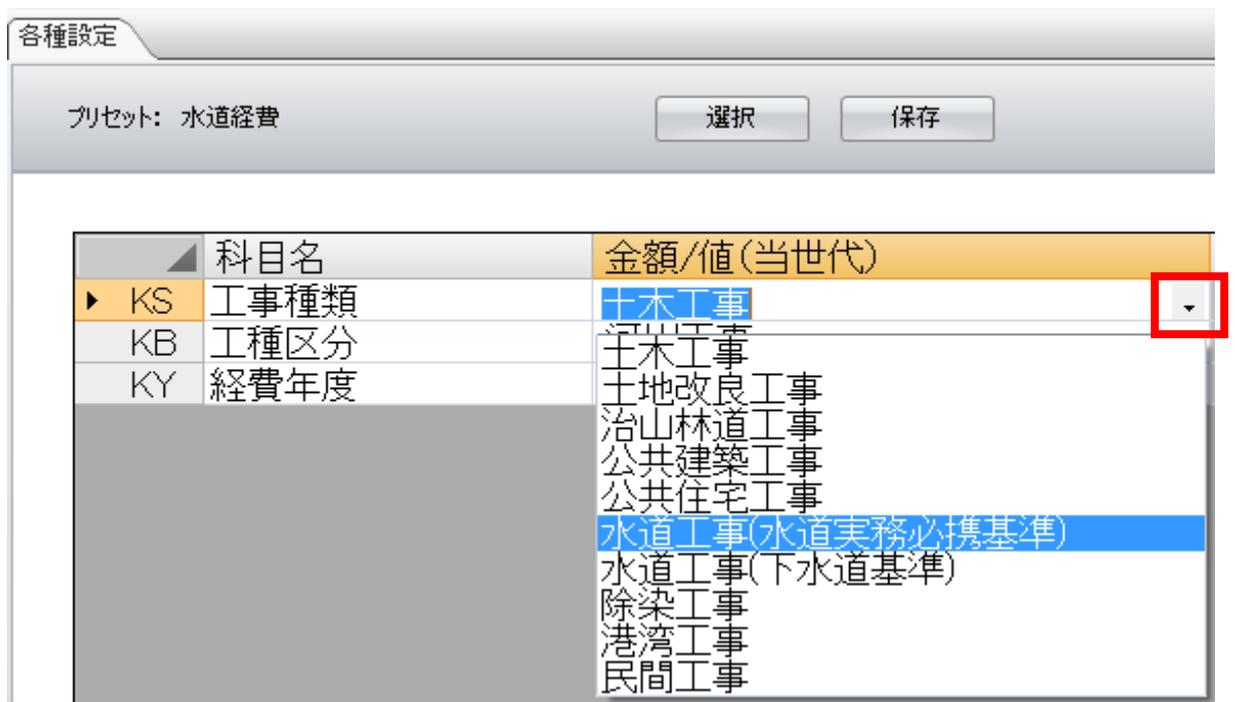
使用する機能をクリックしてください

単価検索 歩掛、発表単価、 ユーザ独自単価を検索する 単価検索	新規設計書 新規設計書を作成 設計書	既存設計書 既存設計書を開く 設計書
設計書の継続 前回の設計書を継続する 設計書	逆算 指定工事価格で逆算 設計書	諸経費計算 積上せず、諸経費のみを計算する 設計書
プログラム更新 頂！積算ソフトアプリケーション を更新する 頂！サービス	データ更新 歩掛、発表単価を更新する 頂！サービス	サポート リモート操作を要請する 頂！サービス



新規設計書をクリックすると各種設定画面に移ります。

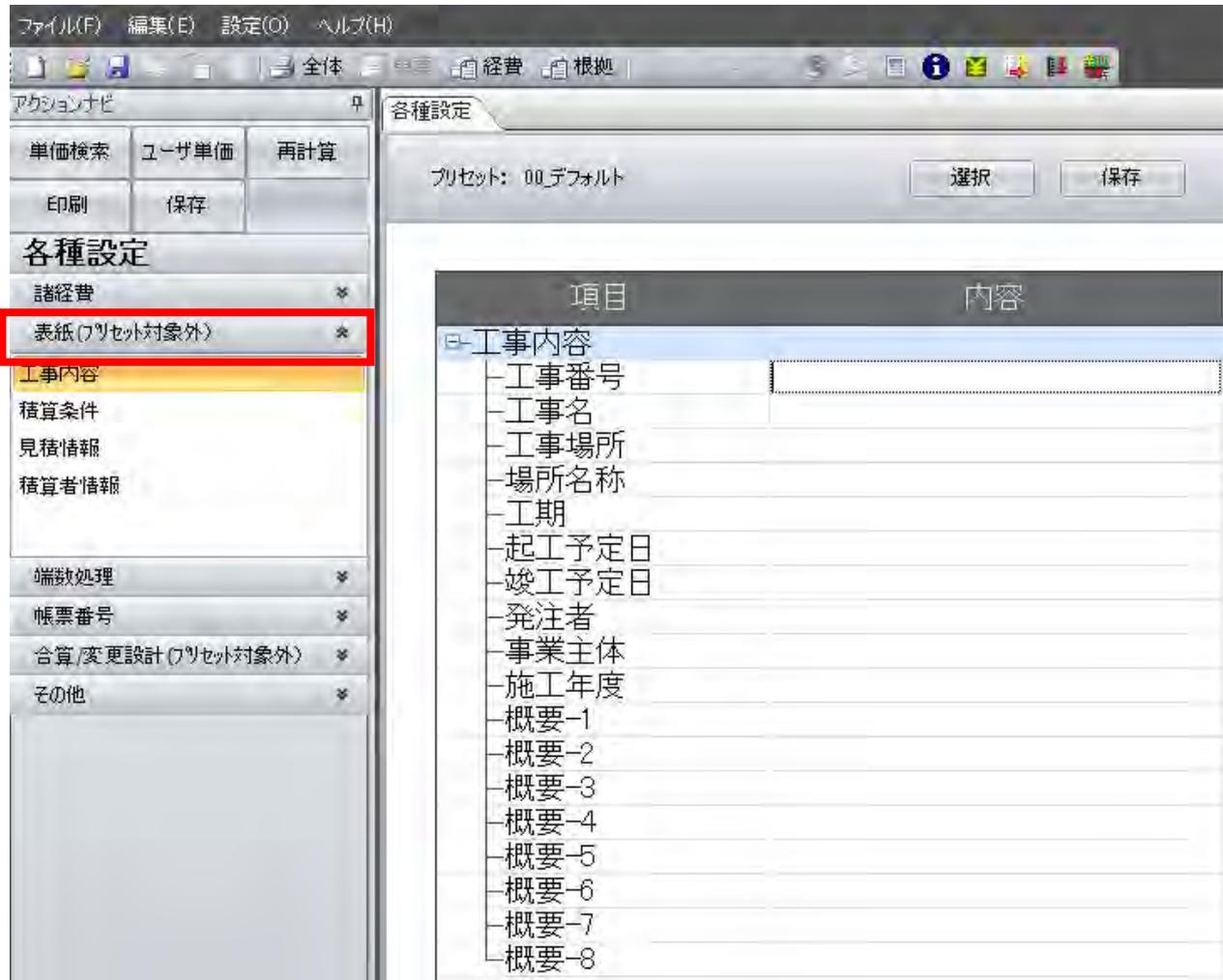
ここではまず初めに、経費条件を設定します。



工事種類、工種区分により経費率が変わってきますので、設計書や入札公告から適切なものを選択します。金額／値(当世代)欄を選択すると▼印が表示され、さらにクリックするとプルダウンメニューが開きます。該当する項目を選択してください。

2.表紙の入力

表紙(プリセット対象外)をクリックすると、工事内容などの入力画面に移動します。



(1) 工事名や概要など必要事項を任意に入力します。

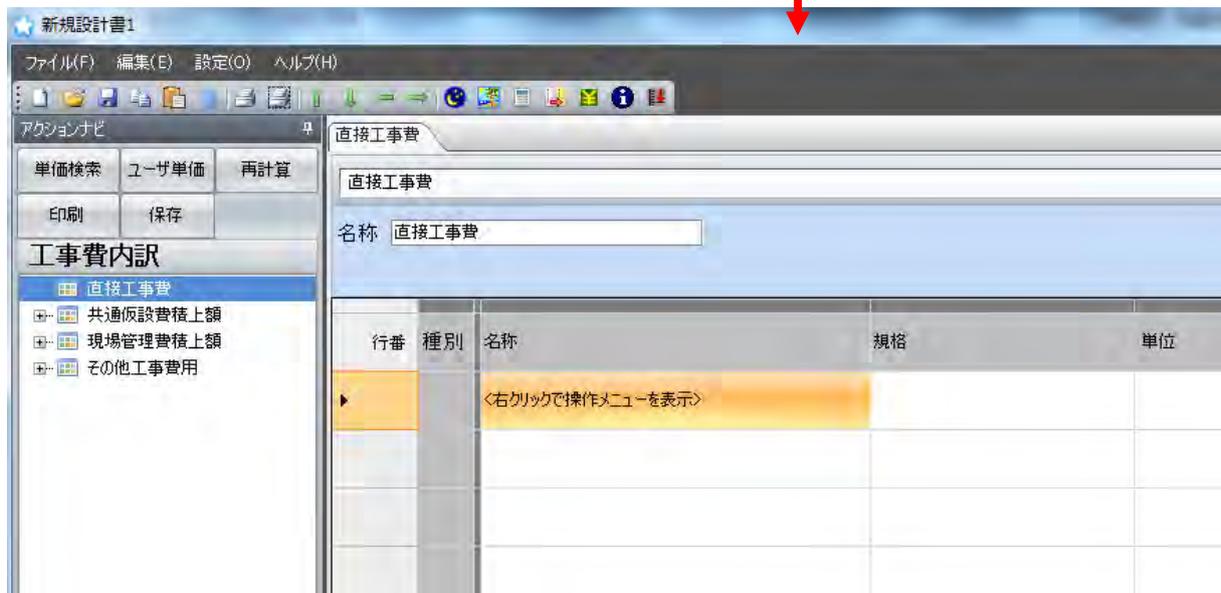


(2) 積算者情報は一度入力すると記憶され、変更がない限り入力する必要はありません。

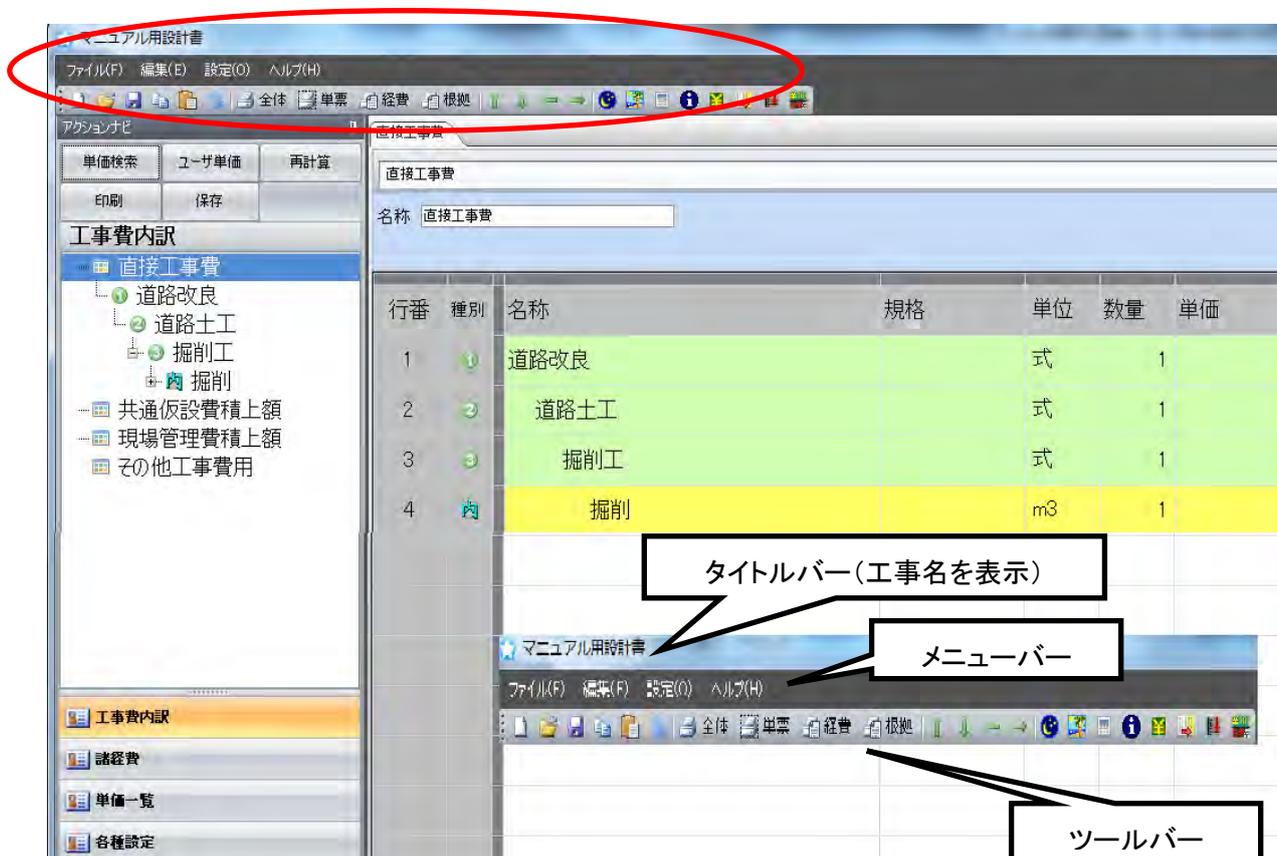
(3) これらの内容は積算中いつでも変更することができます。

3.直接工事費の作成

積算条件の設定や表紙の内容の入力が終わりましたら、次は直接工事費を作成します。
画面右下の「直接工事費へ」をクリックしてください。直接工事費画面へ移ります。



3-1 設計書画面



左ボタン部の主な機能

単価検索: 単価検索画面を開きます。

ユーザ単価: 特殊な単価や代価を保存しておくことができます。

再計算: 数量や単価を変更したとき、合計金額などを再計算します。

印刷: 印刷設定画面を開きます。

保存: 現在の設計書を保存します。

工事費内訳: 直接工事費や共通仮設費積み上げはここから行います。

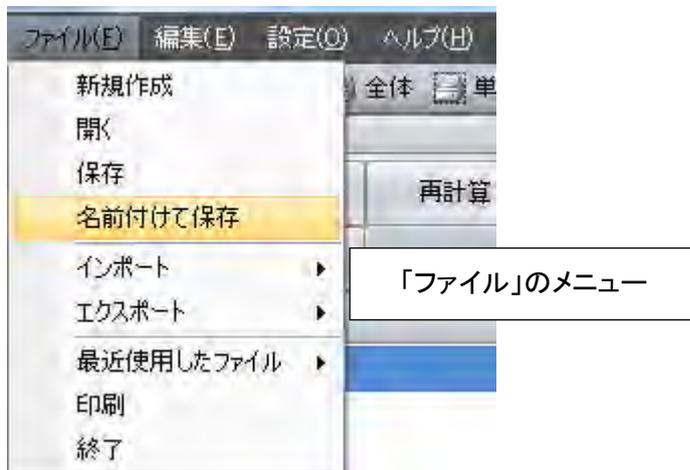
諸経費: 諸経費画面を開きます

単価一覧: 代価一覧と同様に使われている単価の一覧を表示します。

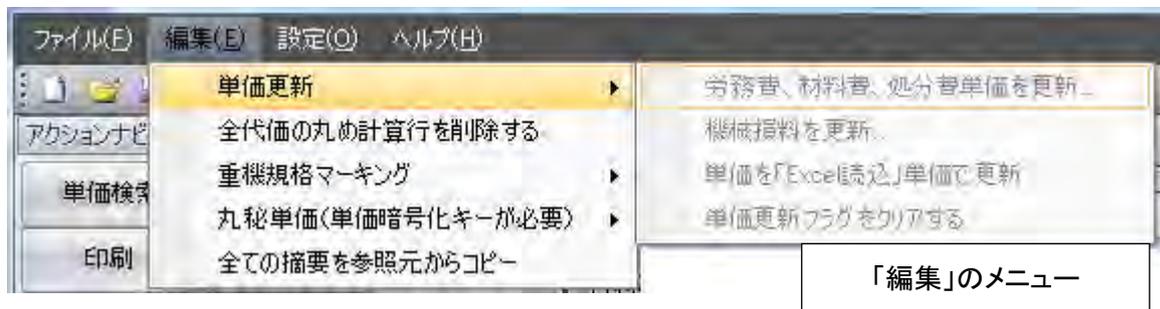
各種設定: 内訳や代価の下位表(明細表)を開きます。

3-2 メニューバーの説明

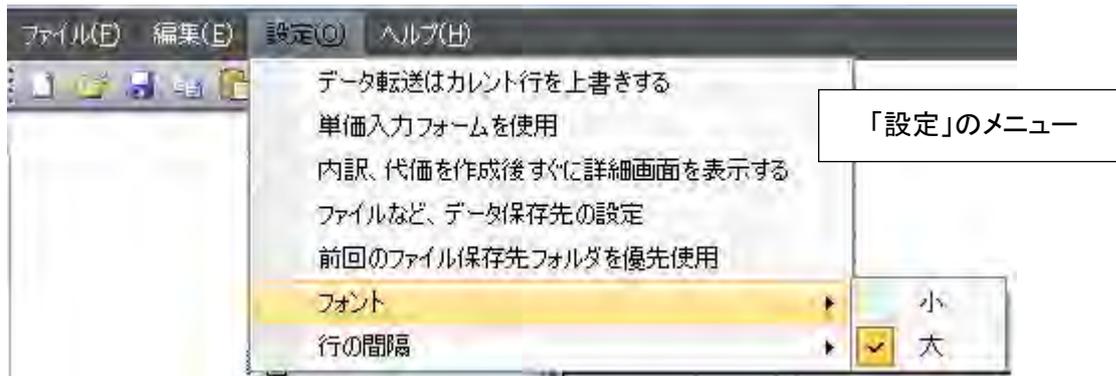
「ファイル」「編集」「設定」「ヘルプ」と4つのメニューがあります。



このメニューから保存や CSV ファイルの取り込みができます。



単価更新から労務費や機械損料などを更新できます。



表示に関わるメニューです

ファイルなどのデータ保存先の設定を変更したり、
文字のサイズを変更することができます。



頂のホームページへ移動します。

1. 操作マニュアル: 文書によるマニュアルを開きます。
2. 参考資料: 地区リストなど閲覧できます。
3. よくある質問: よくある質問をまとめました。
4. リモートサポート: お客様のパソコンとサポートセンターを繋いで、お客様の画面を見ながらご説明することができます。
5. お問合せ窓口: ファイルをサポートセンターへ送ります。

3-3 ツールバーの説明



次にツールバーの主な機能をご説明します。



上行コピー: すぐ上の行をコピーします。内訳や代価の場合は下位表(明細)も含めてコピーします。



全体: 設計書全体を印刷します。

単表: 選択した内訳表や代価表を印刷します。

経費: 諸経費を印刷します。

根拠: 諸経費根拠表を印刷します。



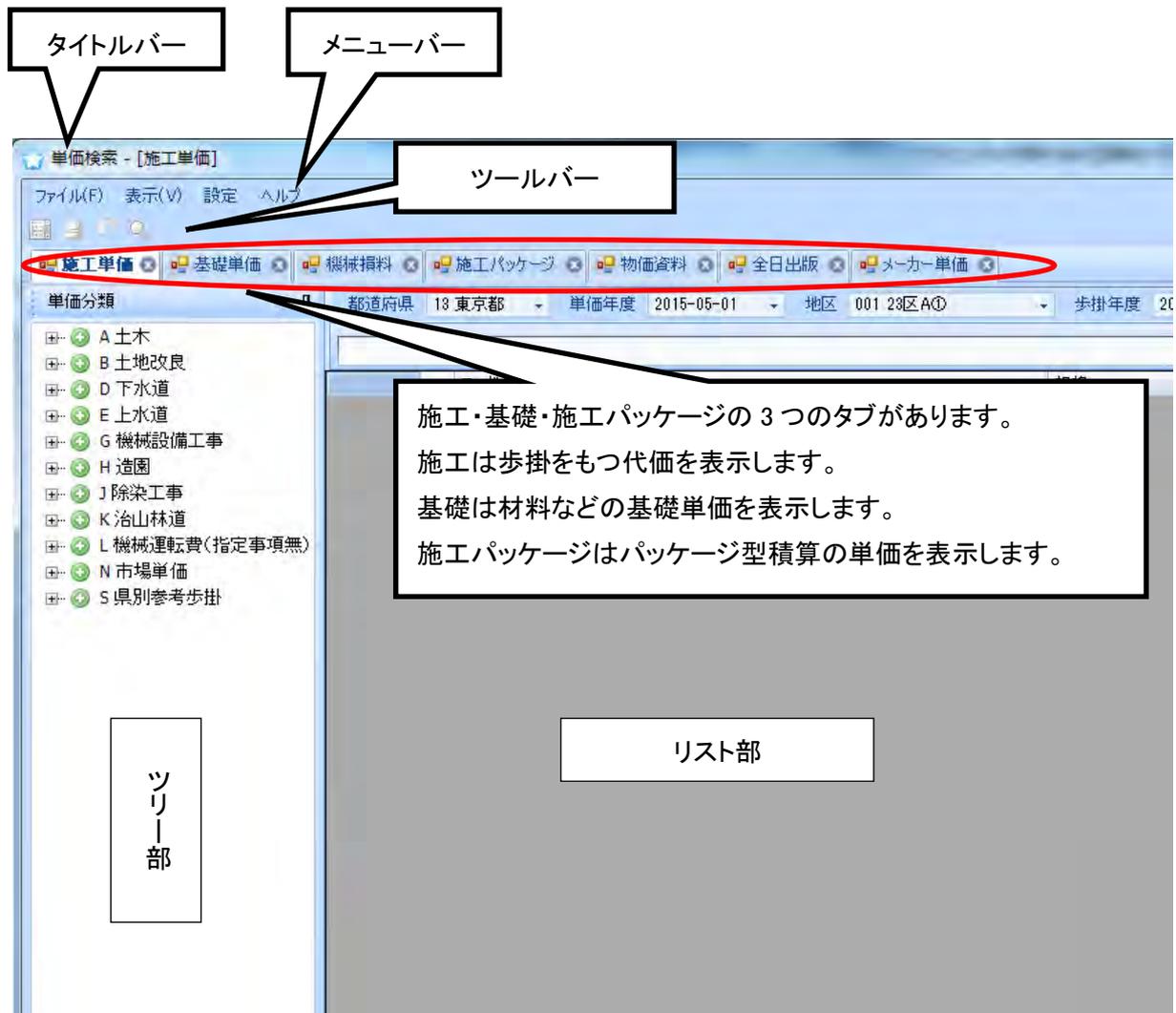
行順の変更&階層の移動: 設計書内の行順を変更することができます。例えば4行目に追加した項目を2行目に移動する場合は、移動したい4行目をクリックして着目行にしてから上向矢印を2度クリックすると2段階上がって2行目になります。

左右の矢印は階層の移動に使います。例えば3階層目の下に新たに階層を作ると、1階層下がって4階層として作成されます。これを上と同じ3階層にしたい時などに、4階層目をクリックして着目行にしてから左向き矢印を1度クリックすると1段階左に移動して3階層になります。階層の移動はどの時点でも可能です。また、移動する階層の下位にある階層も同時に移動します。



計算機: 画面上に計算機が表示され、机上に電卓がなくてもパソコン上で計算することができます。

3-2 単価検索画面

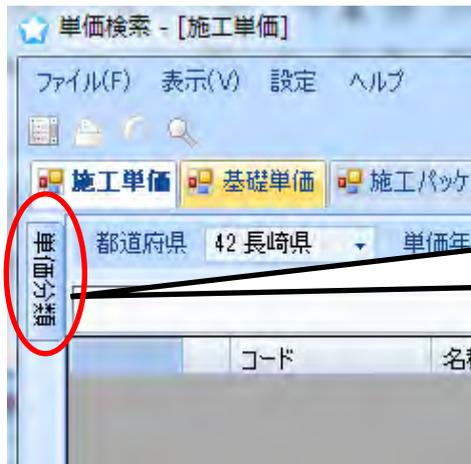


- (1) タイトルバーには「単価検索-[施工単価]」と表示されます。
- (2) メニューバーには作業を補助するメニューが用意されています。
- (3) ツールバーには4つの作業メニューが用意されています。
- (4) 表示バーには「都道府県名」「単価年度」「地区」「歩掛年度」「豪雪補正」「被災地補正」が表示されます。
- (5) ツリー部には「施工」「基礎」「施工パッケージ」などのタブがあります。
- (6) 「施工」は代価（標準歩掛）を「基礎」は材料や労務単価などの下位表を持たない基礎単価をそれぞれ表示します。「施工パッケージ」は施工パッケージの単価を表示します。
- (7) リスト部はツリー部で選択した代価や単価を表示します。

【クリップ機能】 ツリーの表示を固定(表示)、非表示にすることができます。



クリックでピンを挿したり、倒したりできます。ピンを倒すとツリーが非表示になります。



単価分類をクリックするとツリーが表示されます。ピンが倒れているのでピンをクリックしてピンを挿して固定します。

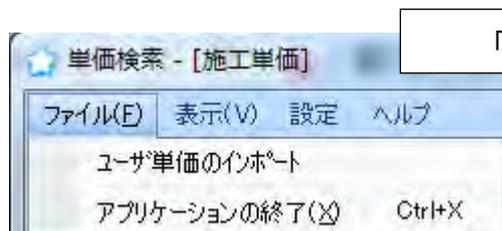
 ピンを挿している状態 → ツリーが固定される

 ピンを倒した状態 → ツリーが非表示

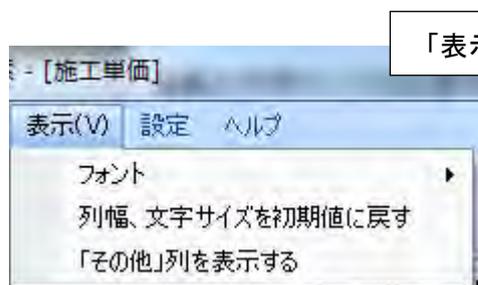
3-4 メニューバーの説明

ファイル(F) 表示(V) 設定 ヘルプ

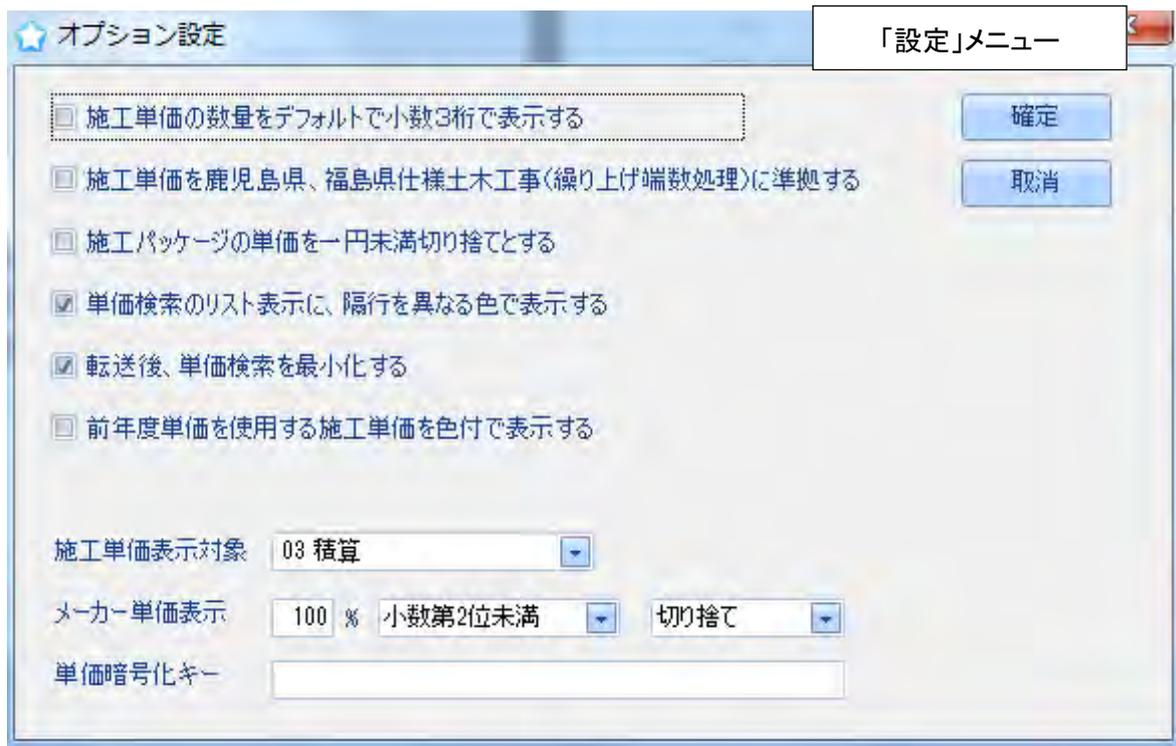
メニューバーには「ファイル」「表示」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



ユーザー独自単価をインポートする時に使います。



文字サイズの「大」と「小」が選択できます。
列幅や文字サイズを初期値に戻します。
リスト部に「その他」列を表示させます

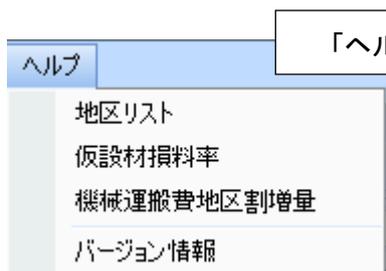


設定メニューを開くとオプション設定が選択できます。

- ・代価の数量を3桁表示にします。(初期設定は2桁表示です)
- ・鹿児島県、福島県のユーザ用の設定です。
- ・単価検索から単価を転送後に、単価検索を最小化する設定です。2画面で使用する場合等、単価検索を最小化にしたくない場合はチェックを外して下さい。
- ・リスト部に表示された行が見やすいように行に色がつきます。

施工単価表示対象: 施工単価表示対象を「土木」「積算」「管工事」「公園工事」が選択できます。(積算を契約しているお客様のみが選択可能です。)

メーカー単価表示: 単価検索のメーカー単価を自由に変更できます。



地区リストを開きます。工事場所の地区番号がわからない時に地区リストで確認できます。

3-5 ツールバーの説明

ツールバーの主な内容を説明します。



全てのツリーを閉じる:作業しているうちにツリー部分が長く展開して、目的のコードや工種が見つげにくくなる場合があります。このアイコンをクリックするとすべてのツリーが閉じて最初の状態に戻ります。



印刷

代価表を印刷するときに使います。



ジャンプ元に戻る:土木工事と土地改良工事などで同じ明細表の代価表がある場合、頂では土木工事のツリー内に代価表を作成し、土地改良工事のツリーでは代価表を作成していません。土地改良工事のツリーでそのような工種を選択した場合、土木工事の当該工種の代価表を表示するジャンプ機能があります。

例えば 土地改良工事で

B-4-3 既成コンクリート杭カットオフ工→★A-3-14-1

などの表現があるとき、ダブルクリックするとA-3-14-1にジャンプして土木工事Aにあるその代価表を表示します。そのときツリー部もA-13-4付近を表示します。当該代価表を張り付けた後、【ジャンプ元に戻る】をクリックすると、ツリー部の表示が元のB-4-3に戻ります。



検索

ツリー部から目的の代価や単価が見つからない時に、工種名などから検索する時に使います。アイコンをクリックすると単価検索システム画面の下に検索用画面が表示されます。

補足説明

- (1) 現在選択しているタブの中から検索をします。歩掛を検索する場合は「**施工単価**」のタブを選択してから検索していただき、労務単価や材料などを検索する場合は「**基礎単価**」のタブを選択してください。
- (2) 検索用画面にもクリップ機能がありますのでピンで検索用画面を固定表示にしておくことができます。

・表示バーの説明

The screenshot shows a search bar with the following elements: '都道府県' (Prefecture) set to '11 埼玉県' (Saitama Prefecture), '単価年度' (Unit Year) set to '2015-04-01', '地区' (Region) set to '001 県南' (Southern Prefecture), '歩掛年度' (Step Year) set to '2015', and '機械損料年度' (Equipment Damage Year) set to '2015-04-01'. There are checkboxes for '豪雪' (Heavy Snow) and '被災地' (Disaster Area). Below the search bar are two buttons: '上位に戻る' (Return to Top) and '転送' (Transfer).

都道府県ボックス:ご契約の都道府県が表示されています。

単価年度ボックス:労務費や資材などの基礎単価の年度を表示しています。頂のスタートメニューの「データ更新」から更新をすると単価年度ボックスに更新された月が追加されます。

地区ボックス:生コンや砕石など都道府県で地区ごとに公表している単価があります。お使いの県で区分している地区に分類してありますので、当該工事の地区に合わせて選択してください。市町村名と地区との関係が不明の時は、メニューバーの「ヘルプ」から頂ホームページへ移動します。

2. 参考資料「地区リスト」を選択して、下部の県名リストから県名をクリックし、表示されるエクセルシートの一覧表から確認してください。

歩掛年度ボックス:歩掛年度を表示しています。

機械損料年度ボックス:機械損料年度を表示しています。

豪雪補正ボックス:機械損料の豪雪補正を設定します。全県が豪雪補正地区に指定されている場合は初期設定でチェックが入っていますが、県内で豪雪地区に該当しない地区がある場合はチェックが入っていません。その場合は積算を開始する前にチェックを入れる必要があります。

被災地補正ボックス:国土交通省の被災地補正が必要な場合はチェックを入れて下さい。

上位に戻る:現在のツリーの位置からひとつ前のツリー画面に戻ります。

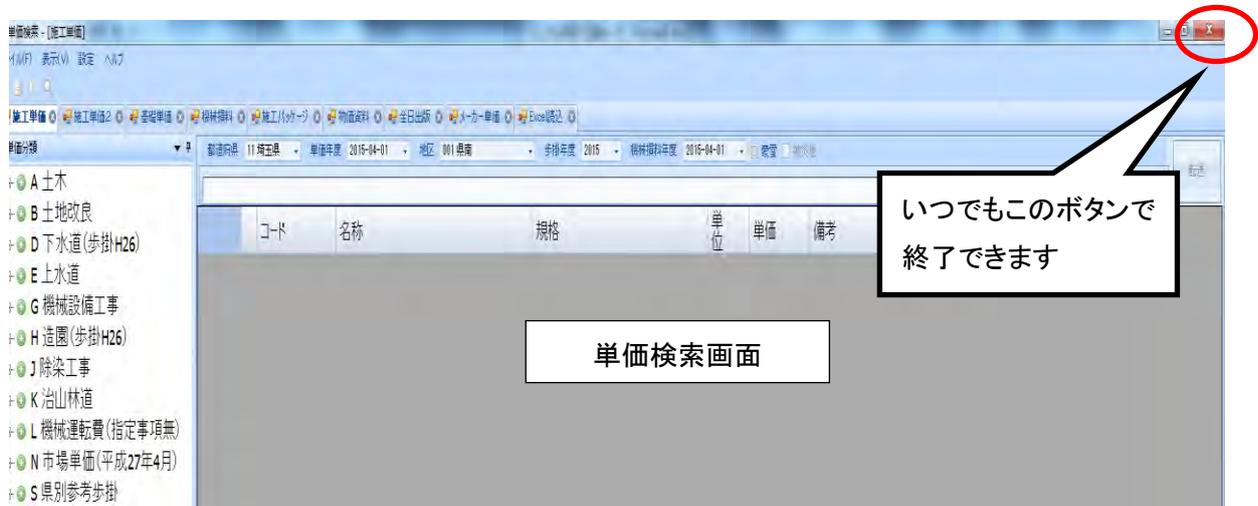
転送:単価検索のデータを設計書へ転送し貼り付けます。

補足説明

- (1) 歩掛は毎年変更されますが、いつの時点で新しい歩掛を採用するかは発注官庁によってまちまちです。新年度になって労務費や資材単価は新年度単価を採用しても、歩掛と機械損料はしばらく昨年度分を使用しているのが現状です。
- (2) 頂では機械損料は単価年度ではなく歩掛年度に連動しています。新年度になっても歩掛と機械損料は旧年度という場合は、歩掛年度を前年度、単価年度は新年度4月に設定すれば対応できます。

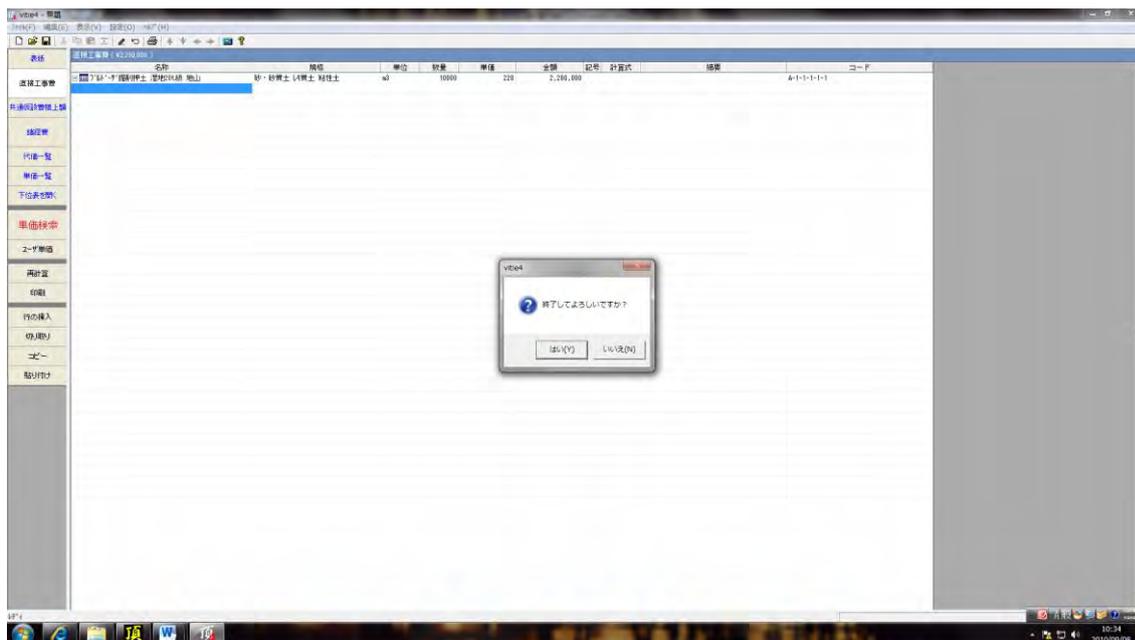
4.頂を終了(保存)する

単価検索画面・設計書画面のどの画面でも画面右上の ボタンで終了します。



設計書画面では をクリックすると確認メッセージが出るので、 で終了します。





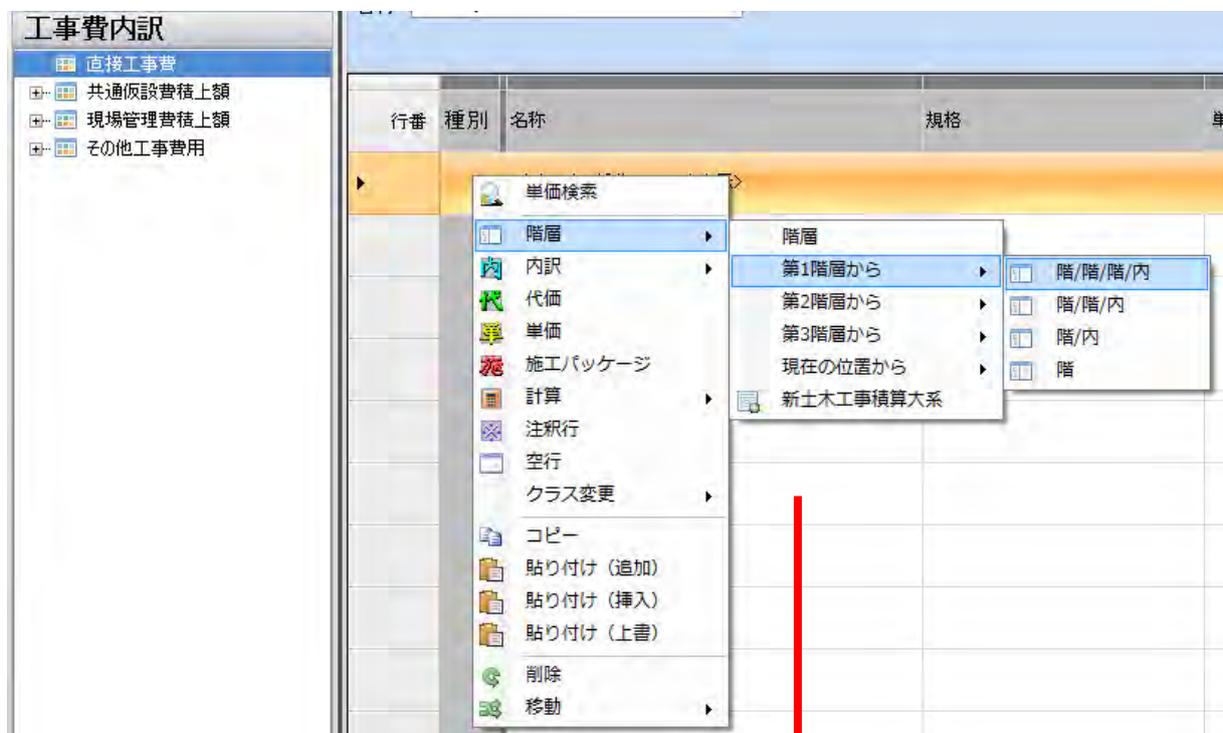
メニューバー「ファイル」メニューの中の「名前を付けて保存」で終了することもできます。

5.階層の作成

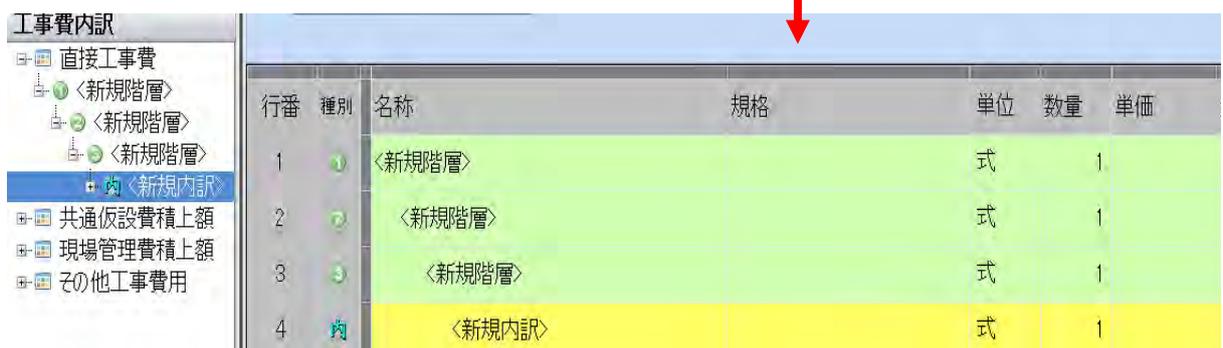
直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。
メニューリストから「階層」を選択します。

「階層」はひとつの階層を作成します

「第1階層から」「第2階層から」「第3階層から」「現在の位置から」
こちらは選択すると、どういった構成で作成するか表示されます。
設計書に合わせた構成を選択してください。

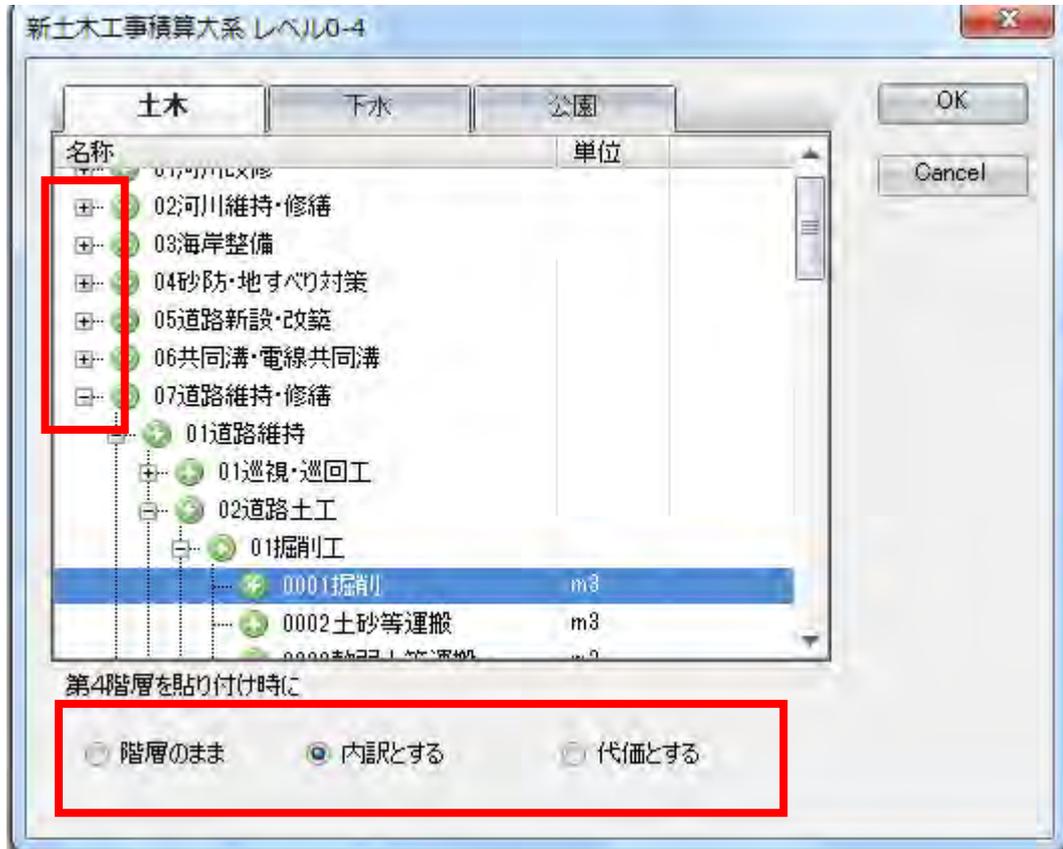


第1階層から階/階/階/内を選択しました。



「新土木積算大系」

国土交通省の新土木積算大系を選択できます。



土木・下水・公園のタブから使用するタブをクリックします。
名称横の「+」マークをクリックすることで下位が表示されます。

第4階層(ここでは掘削)をクリックすると階層、内訳、代価のいずれかを選択できます。

チェックボックスをクリックして右上「OK」をクリックすると
選択した新土木積算大系が設計書に転送されます。

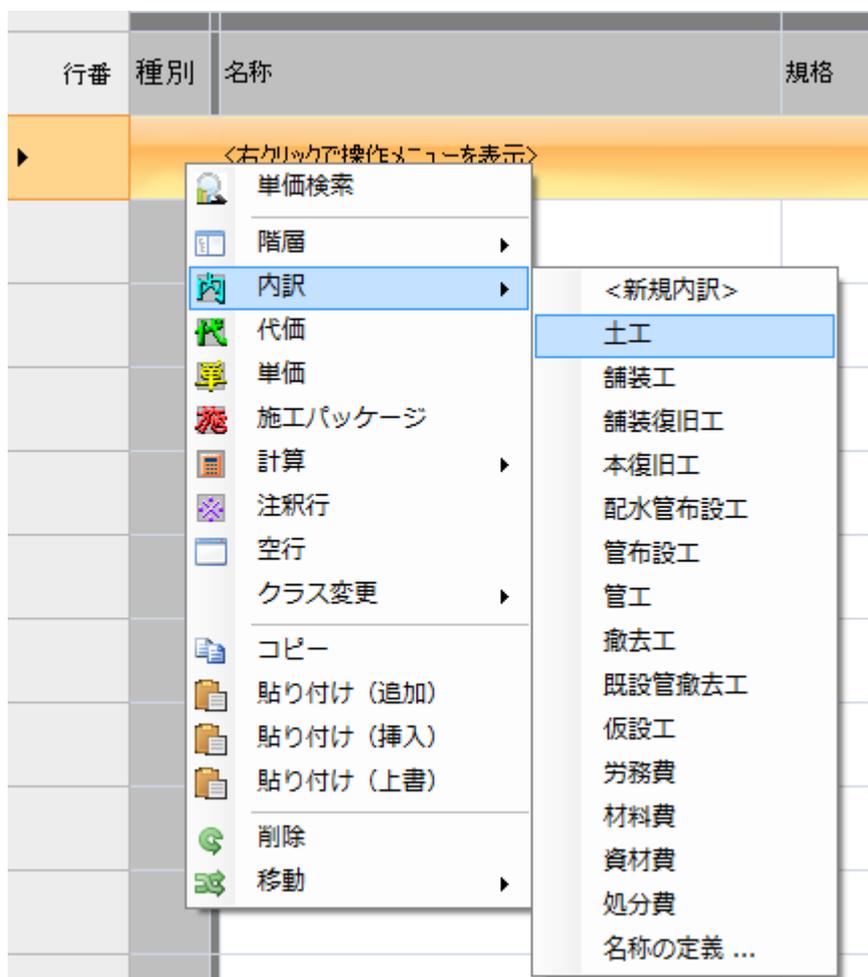
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	道路維持		式	1	
2	②	道路土工		式	1	
3	③	掘削工		式	1	
4	④	掘削		m3	1	

工事費内訳

- 直接工事費
 - 道路維持
 - 道路土工
 - 掘削工
 - 掘削
 - 共通仮設費積上額
 - 現場管理費積上額
 - その他工事費用

6.内訳の作成

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。
メニューリストから「内訳」を選択します。



<新規内訳>をクリックすると内訳が作成されるので、内訳名を入力します。
内訳名の編集は名称をダブルクリックするか、キーボードのF2をクリックで編集できます。

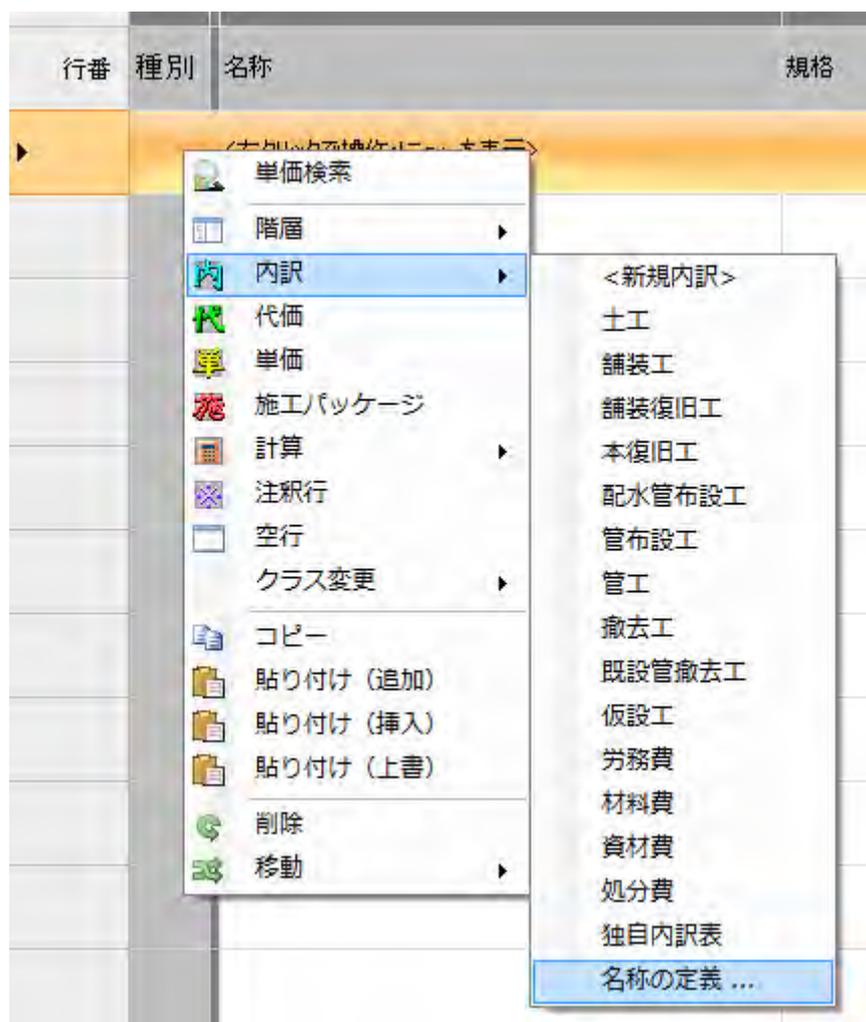
内訳の内容を編集する場合は、行番部分をダブルクリックで「下位表」へ移ります。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	内	<新規内訳>		式	1		

「内訳名称を作成し登録する」

土工や舗装工などのように、よく使用される名称を初期登録しています。
頂では、ユーザが自由に名称を編集し内訳として登録することが可能です。

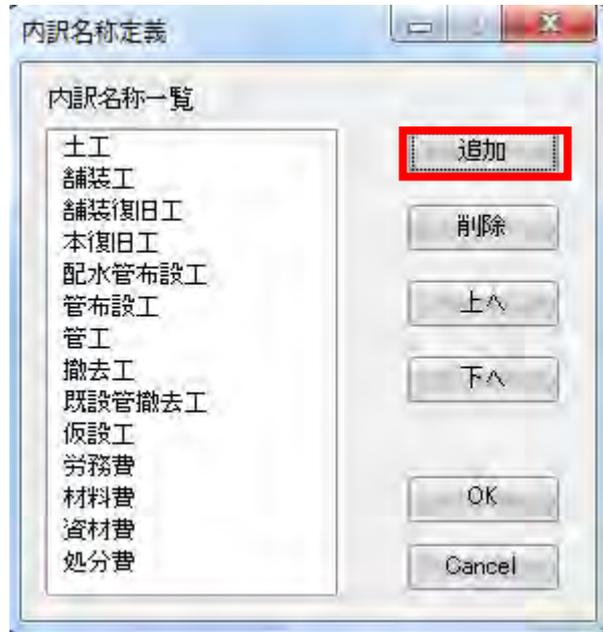
直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。
メニューリストから「内訳」を選択し、「**名称の定義**」をクリックします。



「内訳名称定義」画面に移ります。

登録されている内訳名称一覧が表示されています。

内訳名称を追加作成する場合は「追加」をクリックしてください。

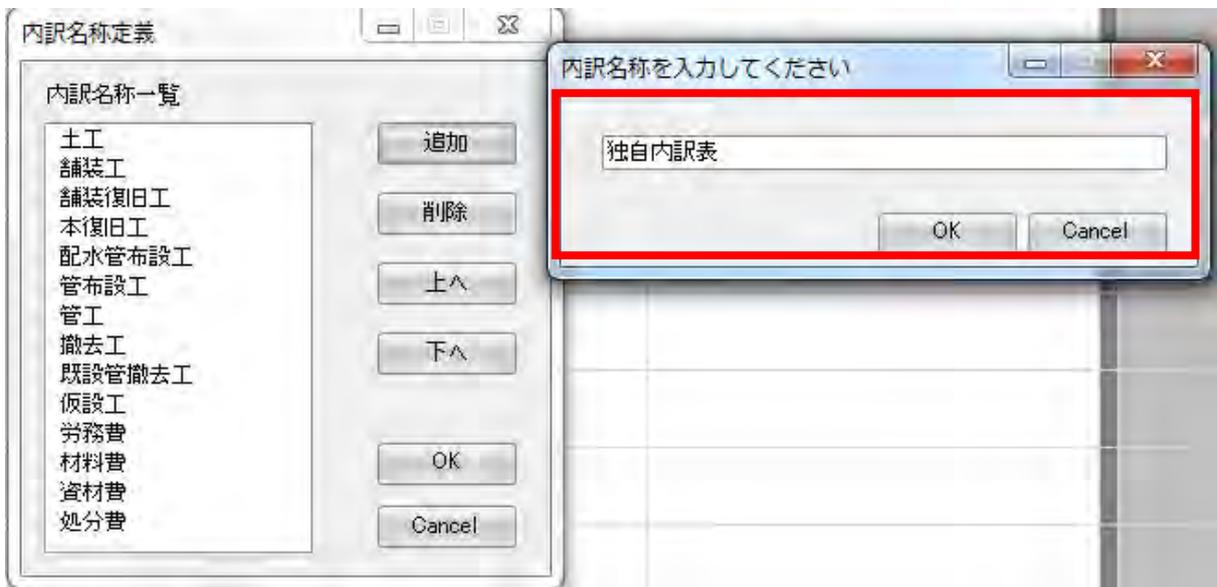


内訳名称を入力し「OK」をクリックすると登録されます。

削除する場合は、内訳名称一覧から削除名称をクリックし「削除」をクリックします。

名称をクリックし「上へ」「下へ」で名称一覧での位置を編集できます。

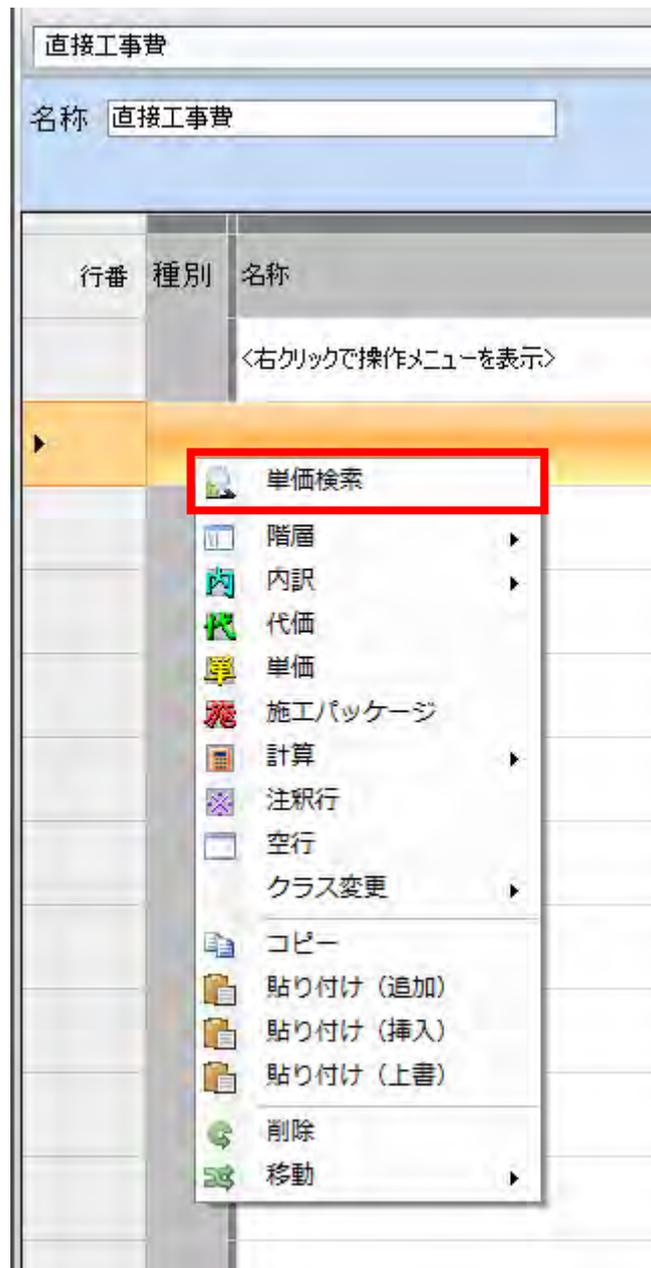
(例:よく使用するものは上に、使わないものは下に)



7.単価検索からの単価の貼付

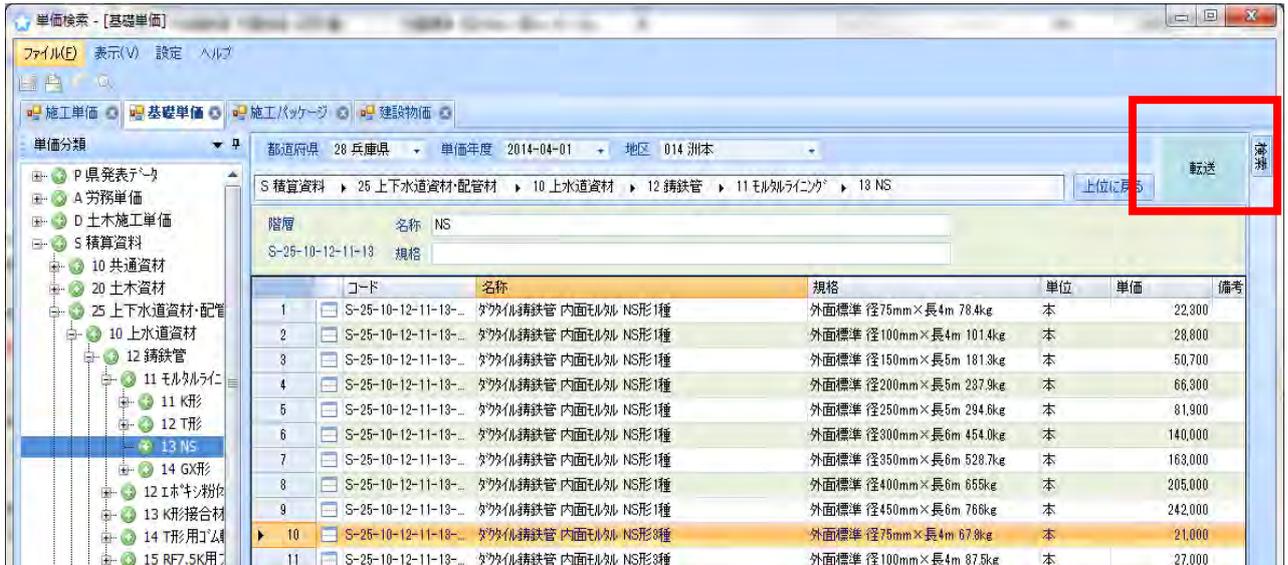
右クリックで操作メニューを呼び出します。

メニューリストから「単価検索」を選択します。



単価検索画面が表示されますので、利用したい単価を選択します。

利用したい単価を選択し、「転送」ボタンを押します。



設計書に単価が追加されます。最後に数量を入力してください。



8.行の削除

削除したい行を選択し、右クリックで操作メニューを呼び出し、「削除」ボタンを押します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	代	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3[平積0.06]	m3	15	2,288	34,320
2	代	管路埋戻費(機械埋戻) 砂 ロス率+0	積0.13m3[平積0.10]	m3	20	2,423	48,460

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 砂 ロス率+0.11	小型バックホウ山積0.13m3[平積0.10]	m3	20	2,423	48,460

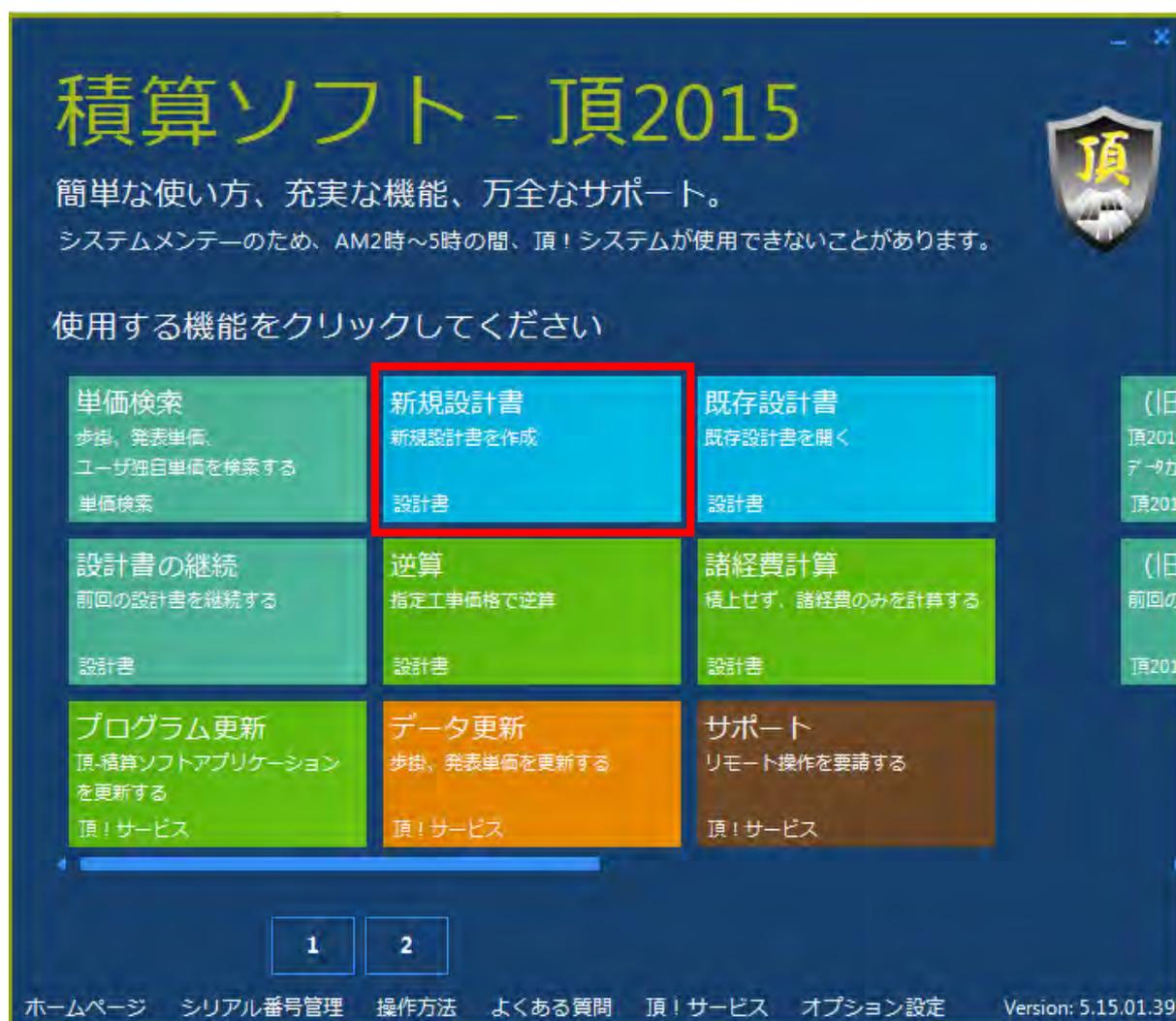
削除したい行が複数ある場合

行番の部分にカーソルを合わせ削除したい行を指定します。範囲指定された行はオレンジ色に着色されます。右クリックで操作メニューを呼び出し、「削除」ボタンを押します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	代	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3[平積0.06]	m3	10	2,288	22,880
2	代	鑄鉄管吊込据付(機械)	75mm以下	m	5	1,038	5,190
▶ 3	代	路盤工(施工幅1.8m未満)	碎石(C-40) 厚10cm	m ²	15	758	11,370

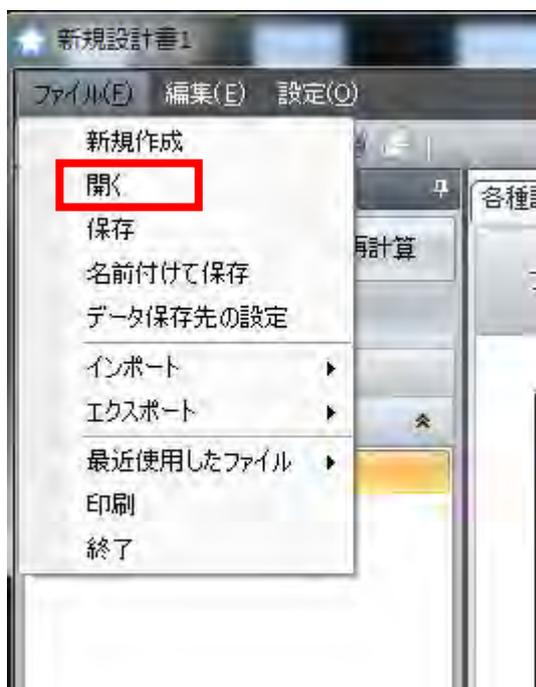
PDF 設計書の取り込み

1.ソフト起動

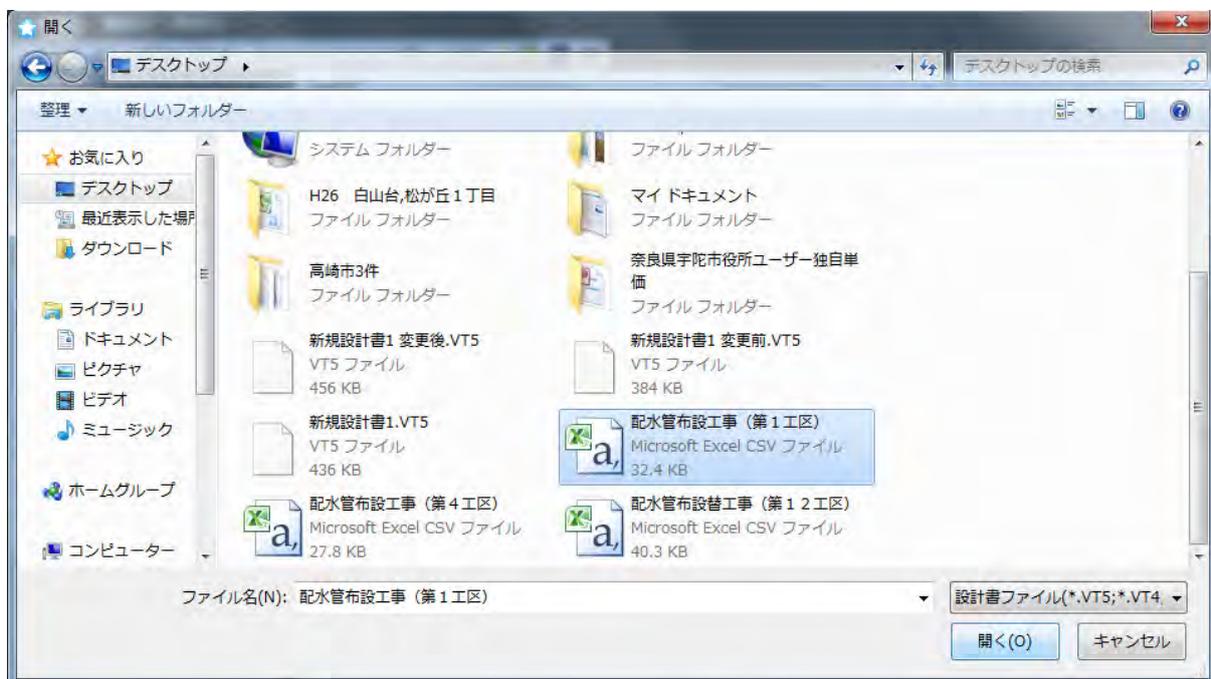


デスクトップ上の「頂」アイコンをダブルクリックすると、上記スタート画面が開きます。
新規設計書をクリックすると、設計書作成画面に移動します。

2.取り込み手順



画面左上のファイル(F)をクリックし、続けて「開く」をクリックします。



取り込みを実行するファイルを選択し、「開く」をクリックしてすると、ボタンひとつで設計書を取り込みできます。

3.工事費内訳書

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	①	φ75配水管布設工						
2	②	材料費						
3	代	材料費		式	1	0	0	第1号単価表
4	②	土工						
5	代	土工		式	1	0	0	第2号単価表
6	②	管工						
7	代	管工		式	1	0	0	第3号単価表

高崎市水道の設計書

1行 φ75 配水管布設工(階層)、2行 材料費(階層)、3行 材料費(代価表)と構成されています。上記の設計書であれば、「3行 材料費」「5行 土工」「7行 管工」の中身を作成していきます。

□ 行番をダブルクリック

代価表などの内訳があればその中身の画面に移動します。

□ 名称をダブルクリック

名称や規格の編集作業を行う場合は名称をダブルクリックします。編集モードに移行するので自由に編集できます。

操作

「5行 土工」の行番をクリックして中身の画面に移動してください。

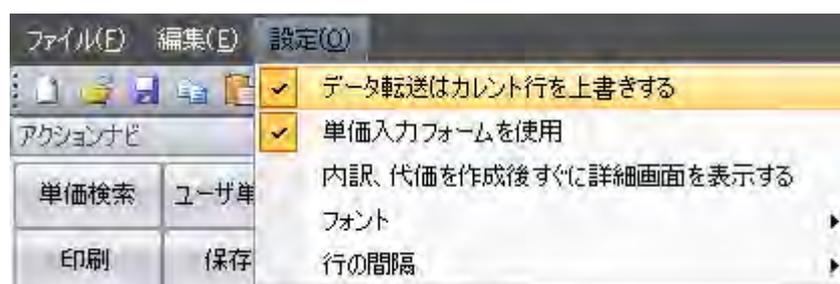
4.設計書作成の準備

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
▶ 1	準	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320	0	0	
2	代	舗装版直接掘削・積込	舗装厚10cm以下	m ²	80	0	0	第9号単価表
3	代	バックホウ掘削積込	クレーン機能付	m ³	69	0	0	第10号単価表
4	準	床掘り	土砂、現場制約あり	m ³	1	0	0	
5	代	管路埋戻(洗砂)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	2	0	0	第11号単価表
6	代	管路埋戻(発生土)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	22	0	0	第12号単価表
7	代	管路埋戻(再生碎石RC-40)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	39	0	0	第13号単価表
8	代	管路埋戻(粒度調整碎石)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	6	0	0	第14号単価表
9	代	発生土処理(土砂、DIDあり)	L=6km	m ³	46	0	0	第15号単価表
10	代	発生土処理(As塊、DIDあり)	L=11.9km	m ³	3	0	0	第16号単価表
11	代	アスファルト舗装工(車道及び路肩)	1層当り、t≤50mm(t=30mm)	m ²	80	0	0	第17号単価表

土工の中身の画面に移動しました。

名称、規格、単位、数量がPDF設計書の通りに取り込みができています。

金額を入力するには上書きモードに変更する必要があります。



画面左上、「設定(O)」をクリックします。

「データ転送はカレント行を上書きする」にチェックをいれます。

5.単価検索の設定

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320	
▶ 2	積	舗装版直接掘削・積込	舗装厚10cm以下	m ²	80	
		積込	クレーン機能付	m ³	69	
			土砂、現場制約あり	m ³	1	
		砂)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	2	
		生土)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	22	
		生碎石RC-40)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	39	
		度調整碎石)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	6	
		土砂、DIDあり)	L=6km	m ³	46	
		As塊、DIDあり)	L=11.9km	m ³	3	
			1層当り +≦50mm(+≦20mm)			

直接工事画面の「舗装版直接掘削・積込」の上で右クリックすると操作メニューが表示されます。「単価検索」をクリックすると画面が移動します。



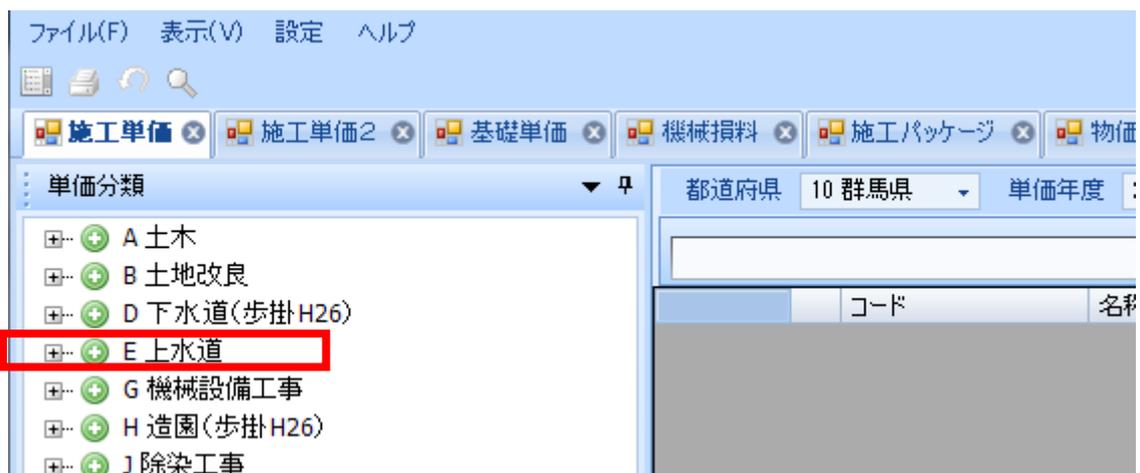
施工地区によって石材、生コンなどの価格が変わります。

ここでは施工地区に設定します。高崎市では「001 県央平野」に合わせます。

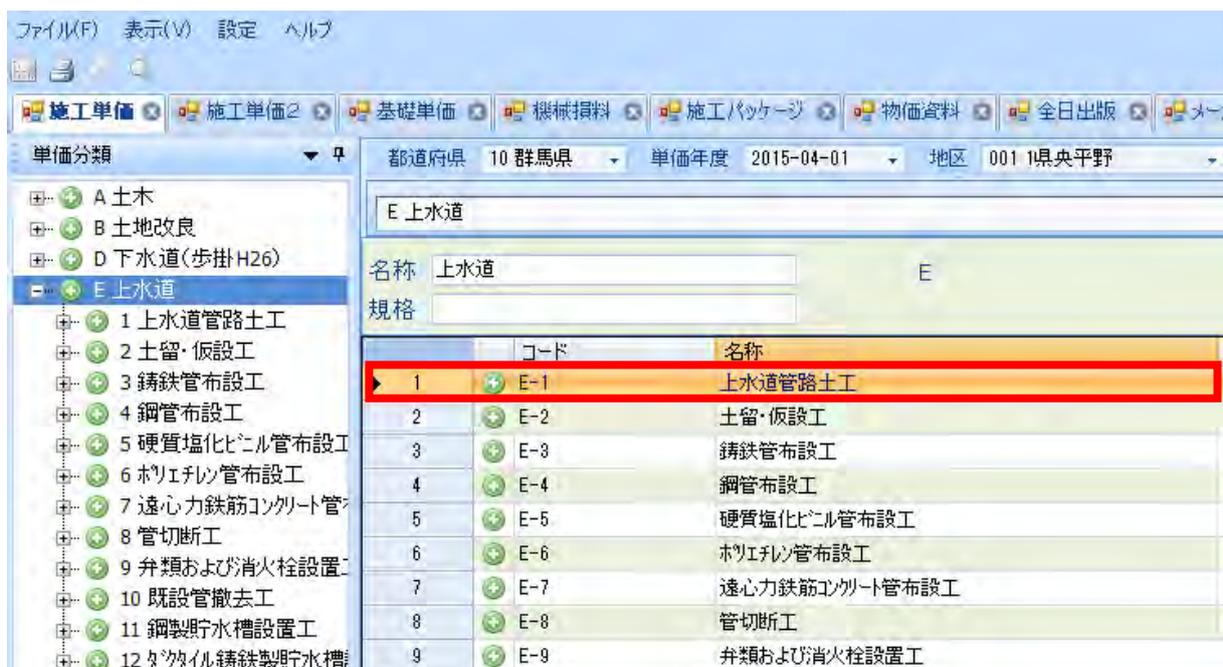
準備、設定は以上です。

設計書作成手順

1.単価検索



「E 上水道」をクリックすると下記画面のようにツリーが展開されます。



「E-1上水道管路土工」の文字をダブルクリックしてください。同じようにツリーが展開されます。

都道府県	10 群馬県	単価年度	2015-04-01	地区	001 1県央平野
E 上水道 ▶ 1 上水道管路土工					
名称	上水道管路土工		E-1		
規格					
	コード	名称			
1	➕ E-1-1	管路掘削			
2	➕ E-1-2	管路埋戻			
▶ 3	➕ E-1-3	舗装版取壊し積込			
4	➕ E-1-4	路盤工			
5	➕ E-1-5	不陸整正工			
6	➕ E-1-6	発生土処理(水道・土砂)			
7	➕ E-1-7	発生土処理(水道・As,Co)			
8	➕ E-1-8	アスファルト舗装工(人力)			
9	➕ E-1-9	ローディングワイヤ(参考)			

「E-1-3 舗装版取壊し積込」をダブルクリックします。

都道府県	10 群馬県	単価年度	2015-04-01	地区	001 1県央平野
E 上水道 ▶ 1 上水道管路土工 ▶ 3 舗装版取壊し積込					
名称	舗装版取壊し積込		E-1-3		
規格					
	コード	名称			
▶ 1	➕ E-1-3-1	バックホウ直接掘削積込(水道・標準)			
2	➕ E-1-3-2	〈舗装版切断〉→★A-12-3-1			
3	➕ E-1-3-3	〈人力破碎〉→★A-12-2-2-1			
4	➕ E-1-3-4	〈機械破碎〉→★A-12-2-1-1			
5	➕ E-1-3-9	機械運転単価表			

「E-1-3-1 バックホウ直接掘削積込(水道・標準)」をダブルクリックします。

さらに条件が表示されますので、10cm 以下、バックホウ山積0.45m³をダブルクリックし選択します。

都道府県 10 群馬県		単価年度 2015-04-01	地区 001 1県央平野	歩掛年度 2015	機械賃料年度 2014-10-01	豪雪 <input type="checkbox"/>	被災地 <input type="checkbox"/>
E 上水道 ▶ 1 上水道管路土工 ▶ 3 舗装版取壊し積込 ▶ 1 バックホウ直接掘削積込(水道・標準) ▶ 1 10cm以下 ▶ 4 舗装版直接掘削・積込 バックホウ山積0.45m3							
名称	舗装版直接掘削・積込 バックホウ山積0.45m3			E-1-3-1-1-4			
規格	10cm以下			積算数量	100	単位	m ²
	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	単 Y0000000002...	土木一般世話役		人	0.35	21,800	7630
2	単 Y0000000000...	普通作業員		人	0.52	17,300	8996
3	代 E-1-3-9-4	バックホウ運転[標準型・排対型(1次)]	山積0.45m3[平積0.35]	h	2.76	7,028	19397
4	代 Y0000002248	諸雑費		式	1	7	7

条件を全て選択していただくと代価表が表示されます。

設計書の C-9ページと中身を見比べて問題なければこちらの単価を設計書に転送します。



画面の右上、転送ボタンをクリックしてください。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	単	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320	0	0	
▶ 2	代	舗装版直接掘削・積込	舗装厚10cm以下	m ²	80	360	28,800	第9号単価表
3	代	バックホウ掘削・積込	クレーン機能付	m ³	69	0	0	第10号単価表
4	単	床掘り	土砂、現場制約あり	m ³	1	0	0	
5	代	管路埋戻(洗砂)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	2	0	0	第11号単価表
6	代	管路埋戻(発生土)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	22	0	0	第12号単価表
7	代	管路埋戻(再生砕石RC-40)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	39	0	0	第13号単価表
8	代	管路埋戻(粒度調整砕石)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	6	0	0	第14号単価表
9	代	発生土処理(土砂、DIDあり)	L=6km	m ³	46	0	0	第15号単価表
10	代	発生土処理(As塊、DIDあり)	L=11.9km	m ³	3	0	0	第16号単価表
11	代	アスファルト舗装工(車道及び路肩)	1層当り、t≤50mm(t=30mm)	m ²	80	0	0	第17号単価表

単価360円が設計書に転送されました。

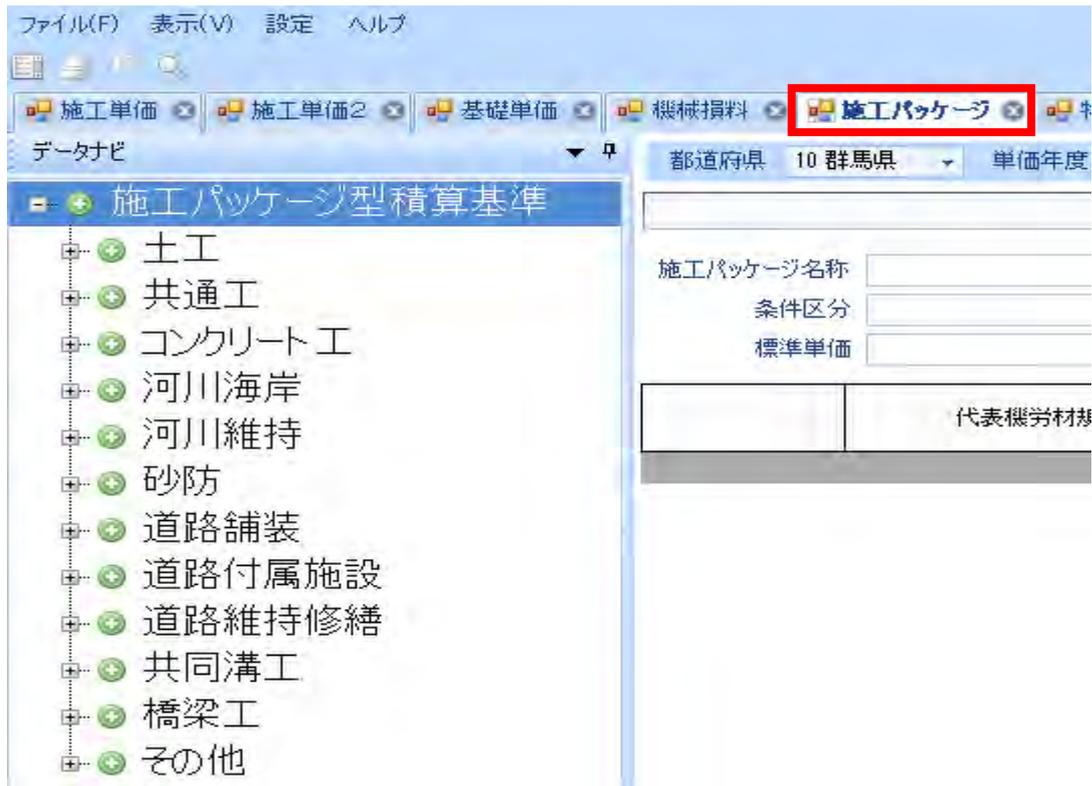
バックホウ掘削積込や管路埋戻、発生土処理なども同じように、単価検索から同じものを転送します。

2. 施工パッケージについて

設計書で使用されている舗装版切断や床掘りなどの中には、
新しい積算方式である「施工パッケージ」が導入されているものがあります。

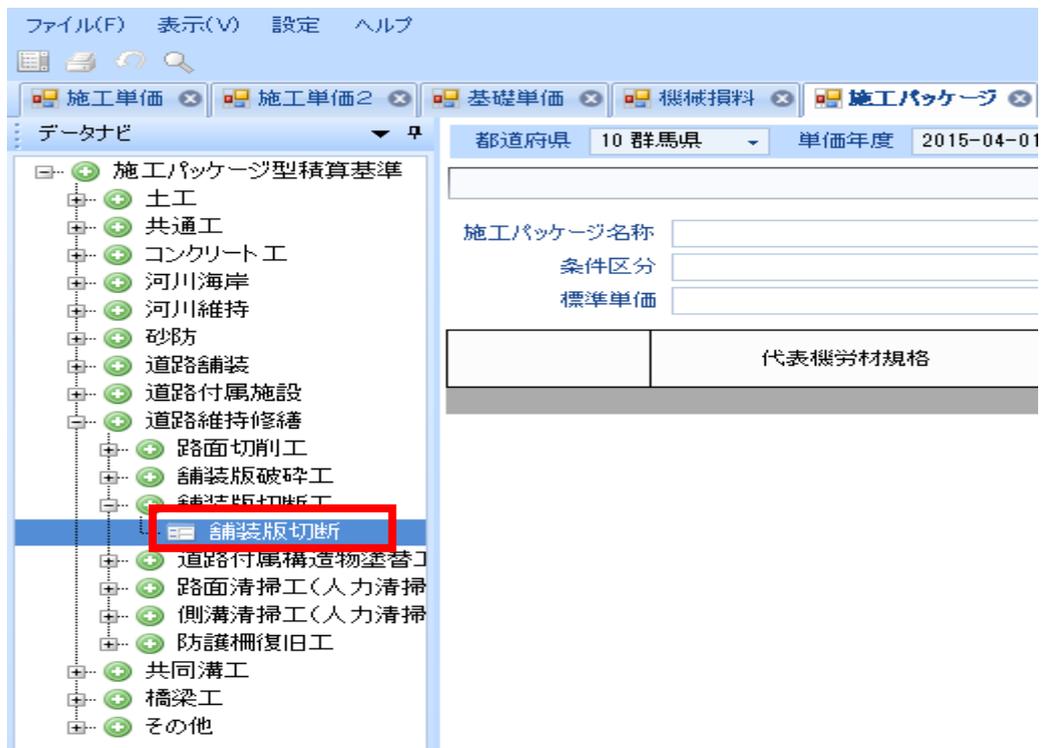
行番	種別	名称	規格	単位	数量
▶ 1	単	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320
		単価検索			
	肉	内訳	削・積込	m ²	80
	代	代価	積込	m ³	69
	単	単価	クレーン機能付	m ³	1
	施	施工パッケージ	土砂、現場制約あり	m ³	2
	計	計算	少)	m ³	22
	注	注釈行	主土)	m ³	39
	空	空行	バックホウ+タンバ締固め	m ³	6
	ク	クラス変更	度調整碎石)	m ³	46
	コ	コピー	土砂、DIDあり)	L=6km	
	貼	貼り付け (追加)			
	貼	貼り付け (挿入)			
	貼	貼り付け (上書)			
	削	削除			
	移	移動			

「舗装版切断」の文字の上で右クリックすると、操作メニューが表示されます。
施工パッケージも歩掛と同じように単価検索をクリックします。

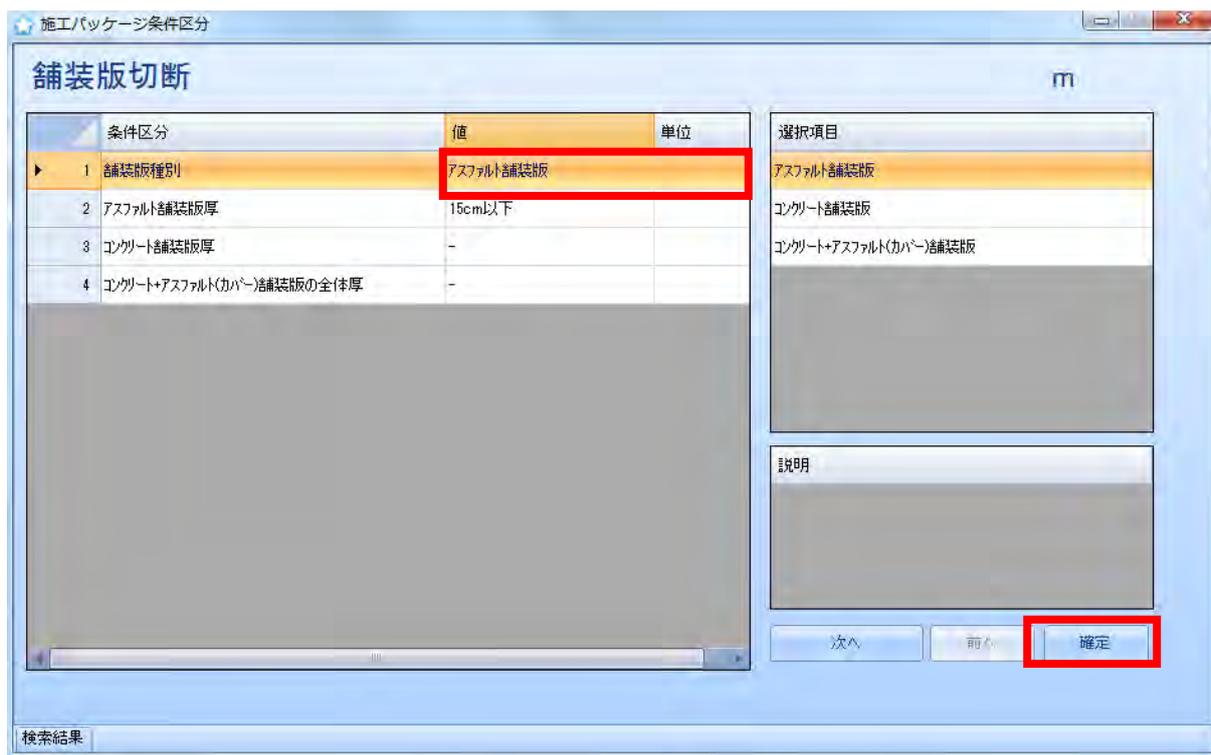


単価検索画面に移動します。

施工パッケージのタグをクリックしますと、施工パッケージのツリーが表示されます。



土工→道路維持修繕→舗装版切断→舗装版切断をクリックしていきます。



舗装版切断までクリックしていくと条件画面が表示されます。

設計書を見ながら条件を選択します。ここではアスファルト舗装版、15cm 以下となっています。

条件の入力をし、確定をクリックします。

施工パッケージ名称

条件区分

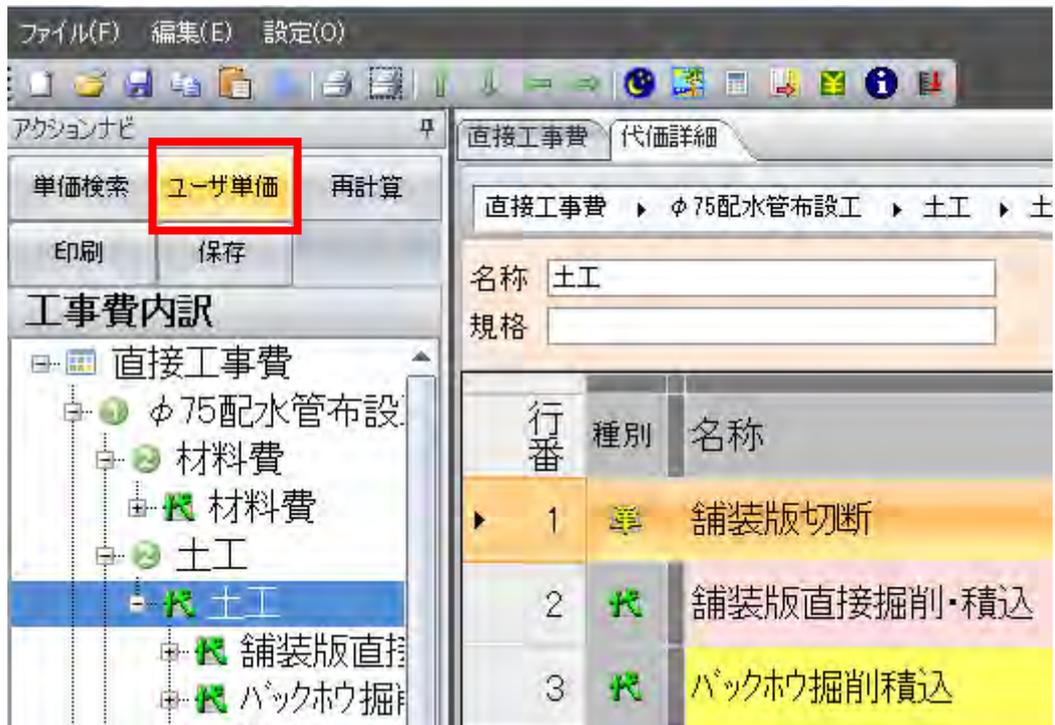
標準単価 積算単価

	代表機劣材規格	単位	構成比	【東京17区】	【積算地区】 (群馬県/11県中央平野)	
				機劣材単価(円)	規格	機劣材単価(円)
K		-	7.02		-	-
K1	コンクリートカッタ【バキューム式・湿式】 切削深20cm級	供用日	4.5	5,110	代表規格	5,320
R		-	52.03		-	-
R1	特殊作業員	人	18.21	20,600	代表規格	19,300
R2	普通作業員	人	15.16	17,200	代表規格	17,300
Z		-	40.95		-	-
Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	枚	36.86	83,000	代表規格	84,500
Z2	ガソリン レギュラー スタンド	台	2.62	142	代表規格	122

施工パッケージの計算結果が表示されます。

歩掛と同じように中身を確認し右上の転送ボタンをクリックし、設計書に転送します。

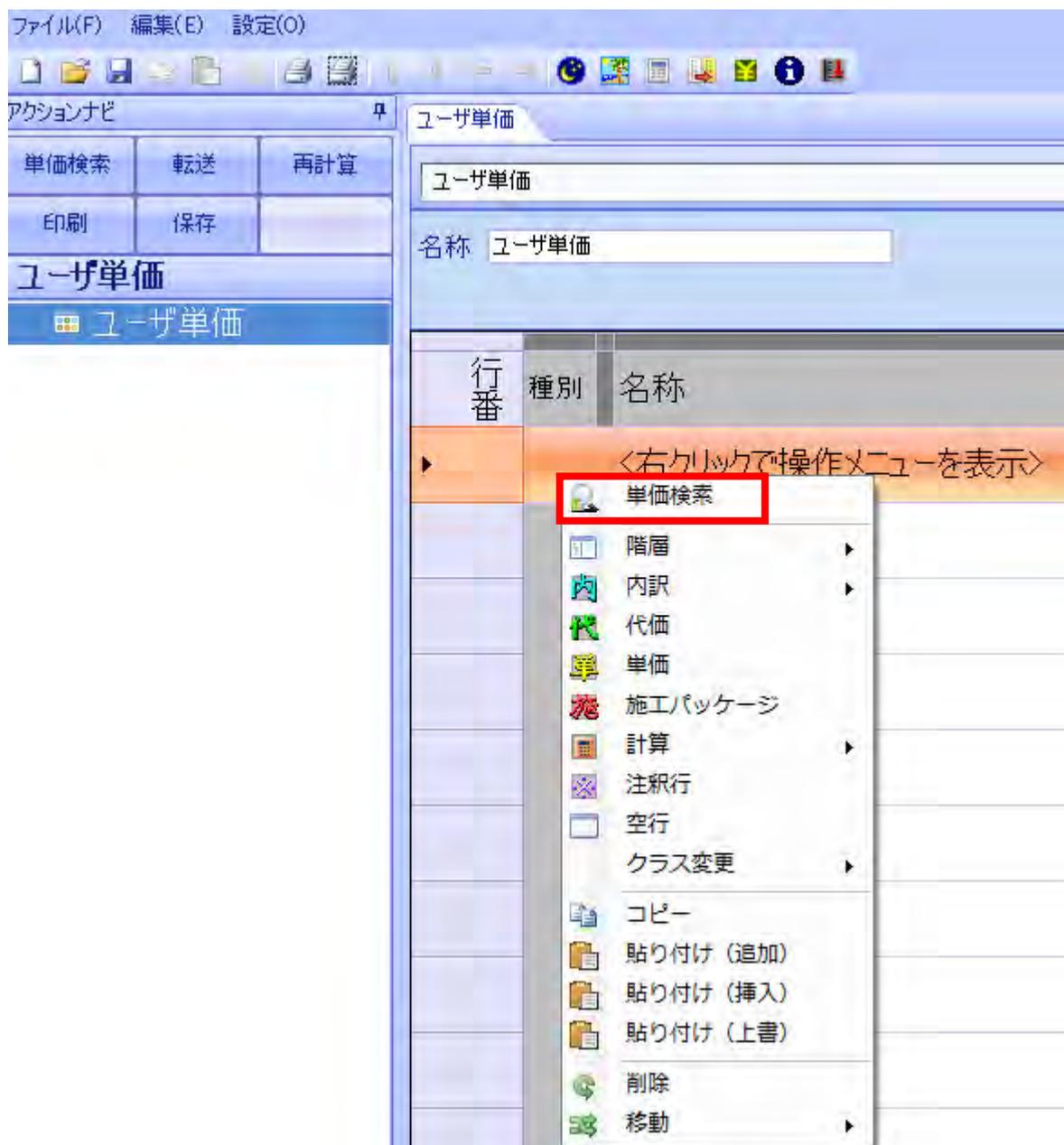
3. ユーザ単価の作成



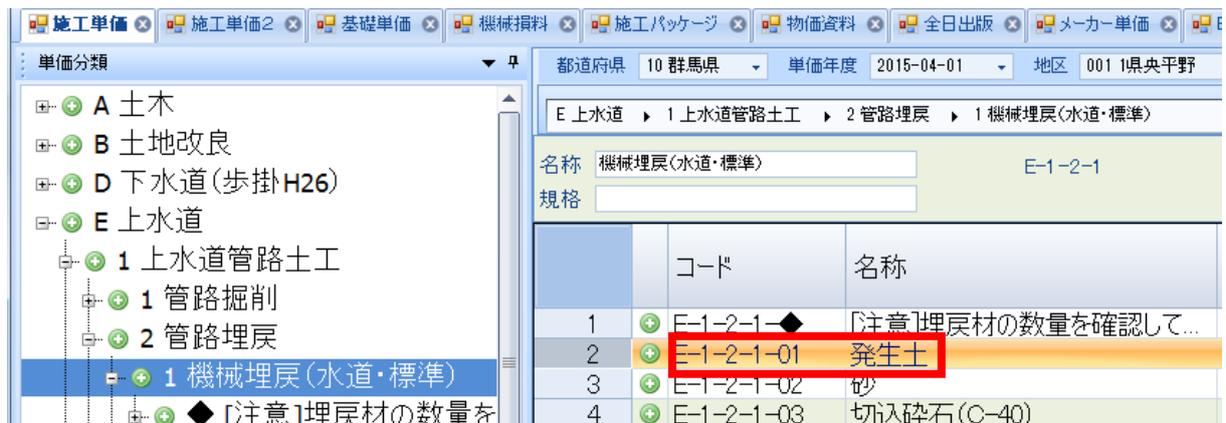
設計書の中には地域独自の歩掛がいくつか存在します。
独自の歩掛は「ユーザー単価」で一度作成すれば、
次回からは作成する手間が省けます。

ここでは「管路埋戻(洗砂)」をユーザー単価として作成し登録します。
洗砂の使用が独自の部分です。

まずはユーザー単価をクリックします。



青色の画面に移動します。この画面がユーザ単価画面です。
右クリックで操作メニューを呼び出し、単価検索をクリックします。



「E 上水道」をクリックします。「E-1 上水道管路土工」をダブルクリック、
「E-1-2 管路埋戻」をダブルクリック、「E-1-2-1-01 発生土」をダブルクリックし、
バックホウを選択し転送します。

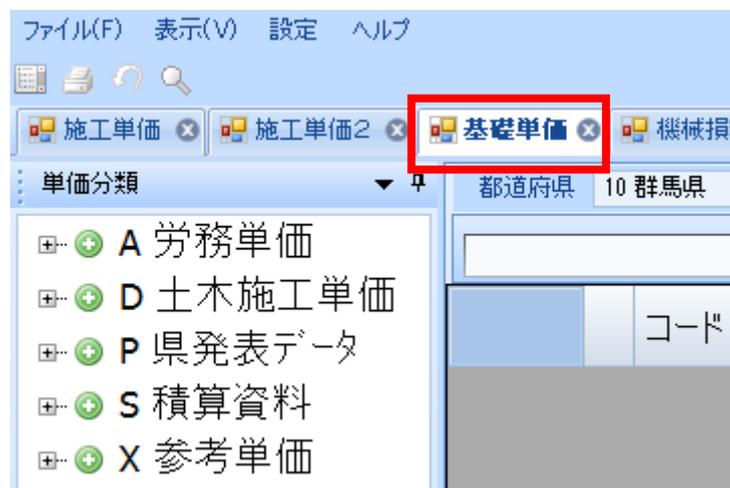


右線部分でダブルクリックし編集モードにします。
管路埋戻費(機械埋戻) 発生土の「発生土」を「洗砂」に変更します。

ユーザ単価画面に管路埋戻費(発生土)が転送されています。
左線部分でダブルクリックし代価表の画面へ移動します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量
1	単	土木一般世話役		人	2.1
2	単	普通作業員		人	5.9
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t吊	h	4.2
4	代	タンバ〇運転(賃料)	60~80kg	日	3
5	☒	諸雑費		式	1

代価表の画面に移動し、諸雑費の下で行で右クリックし操作メニューを呼び出します。
「洗砂」を単価検索から選択し転送します。



「基礎単価」のタブをクリックします。
洗砂などの資材単価データは「基礎単価」として搭載されています。

P 県発表データ ▶ 01 基礎単価表(H27.04.01) ▶ 01 地区別設定単価 ▶ 03 石材・骨材						
名称		石材・骨材		P010103		
規格						
		コード	名称	規格	単位	単価
1	単	P0101030010	石材	裏込石(100-0)	m3	2,900
2	単	P0101030020	石材	割り石(50-150)	m3	3,650
3	単	P0101030030	石材	割り石(150-200)	m3	3,800
4	単	P0101030040	石材	粒度調整砕石(30-0)	m3	3,300
5	単	P0101030050	石材	切砕(40-0)修正CBR30以上	m3	2,800
6	単	P0101030060	石材	切砕(30-0)修正CBR30以上	m3	2,900
▶ 7	単	P0101030070	石材	洗砂(荒目・細目)	m3	4,000
8	単	P0101030080	石材	洗砂利(25mm)	m3	3,700

「P 県発表データ」 → 「01 基礎単価表」 → 「P 0101 地区別設定単価」 →

「P 010103 石材・骨材」 → 「洗砂(荒目・細目)」をクリックし転送ボタンをクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	土木一般世話役		人	2.1	21,800
2	単	普通作業員		人	5.9	17,300
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平0.35]2.9t吊	h	4.2	7,045
4	代	タンバ運転(賃料)	60~80kg	日	3	20,500
5	目	諸雑費		式	1	61
▶ 6	単	石材	洗砂(荒目・細目)	m3	126	4,000

諸雑費の下行に転送されました。

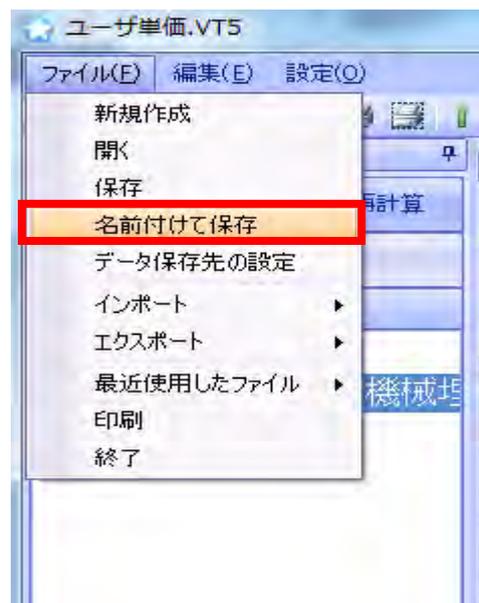
数量を忘れずに入力します。ここでは126と指定されています。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	準	土木一般世話役		人	2.1	21,800
2	準	普通作業員		人	5.9	17,300
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m3[平積0.35]2.9t吊	h	4.2	7,045
4	代	タンパ運転(賃料)	60~80kg	日	3	20,500
5	式	諸雑費		式	1	61
6	準	石材	洗砂(荒目・細目)	m3	126	4,000

数量の入力を終え完成しました。左のユーザ単価をクリックし上の画面へ戻ります。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付) 山積0.45m3[平積0.35]	m3	0	7,430

管路埋戻費(洗砂)の作成が完了しました。



ファイル(F)をクリックし名前を付けて保存をクリックします。

4. ユーザ単価の転送

直接工事費 ▶ φ75配水管布設工 ▶ 土工 ▶ 土工

名称 土工 帳票番号 代価第2号 コード 第2号単価表
 規格 積算数量 1 単位 式

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320	0
2	代	舗装版直接掘削・積込	舗装厚10cm以下	m ²	80	360
3	代	バックホウ掘削積込	クレーン機能付	m ³	69	0
4	単	床掘り	土砂、現場制約あり	m ³	1	0
5	代	管路埋戻(洗砂)	バックホウ+タンバ締固め	m ³	2	0

管路埋戻(洗砂)をクリックします。選択行はオレンジで着色されます。
 着色を確認したのち、「ユーザ単価」をクリックします。

ファイル(F) 編集(E) 設定(O)

単価検索 転送 再計算
 印刷 保存

ユーザ単価

ユーザ単価

名称 ユーザ単価

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付) 山積0.45m ³ [平積0.35]	m ³	0	7,430

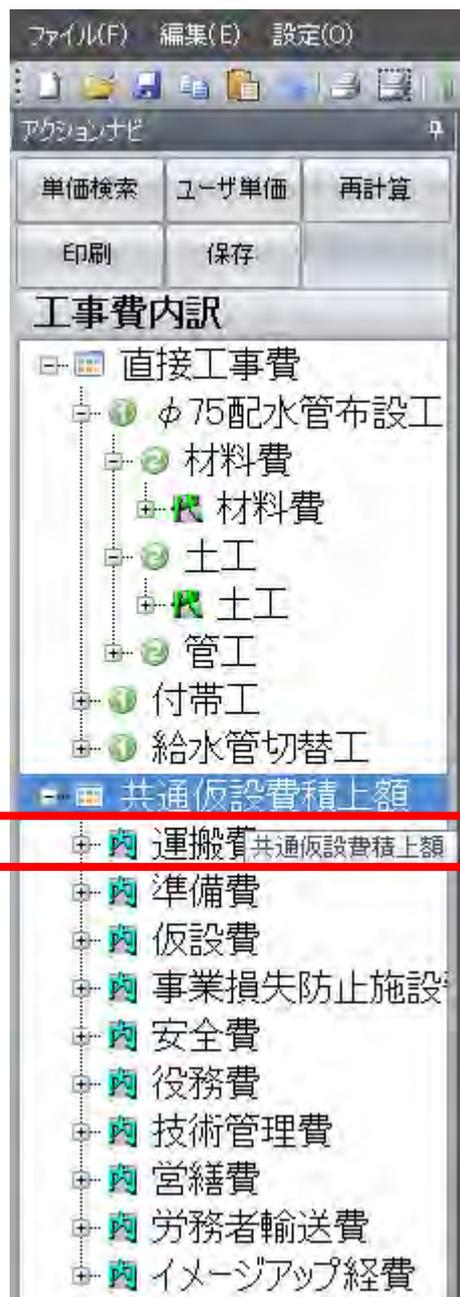
ユーザ単価画面に移動しました。先ほど作成した管路埋戻費(機械埋戻)洗砂をクリックします。
 着色を確認したのち転送ボタンをクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	単	舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	320	0	0
2	代	舗装版直接掘削・積込	舗装厚10cm以下	m ²	80	360	28,800
3	代	バックホウ掘削積込	クレーン機能付	m ³	69	0	0
4	単	床掘り	土砂、現場制約あり	m ³	1	0	0
▶ 5	代	管路埋戻(洗砂)	バックホウタンバ締固め	m ³	2	7,430	14,860
6	代	管路埋戻(発生土)	バックホウタンバ締固め	m ³	22	0	0

ユーザ単価の7430円が転送されました。

共通仮設費の入力

1.共通仮設費積上額



直接工事費画面の左「共通仮設費積上額」をクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備費		式	1	
3	内	仮設費		式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	営繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	イメージアップ経費		式	1	

共通仮設費の各種積み上げ項目が表示されます。

設計書に使用されている「交通誘導警備員B」を安全費として積み上げます。

行番をダブルクリックしてください。

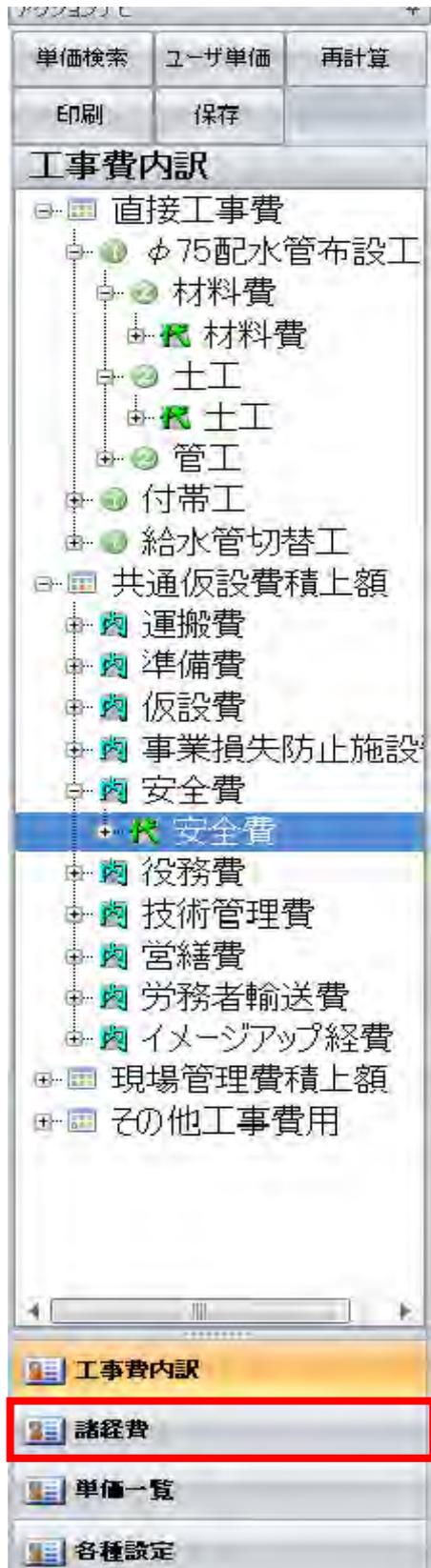
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	交通誘導警備員B	資格無し及び作業員等	人	0	0

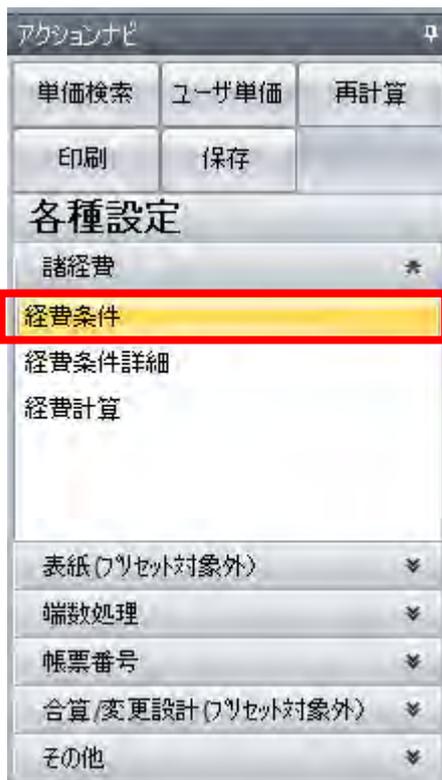
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
▶ 1	単	交通誘導警備員B	資格無し及び作業員等	人	15	10,000

上記画面に移動します。

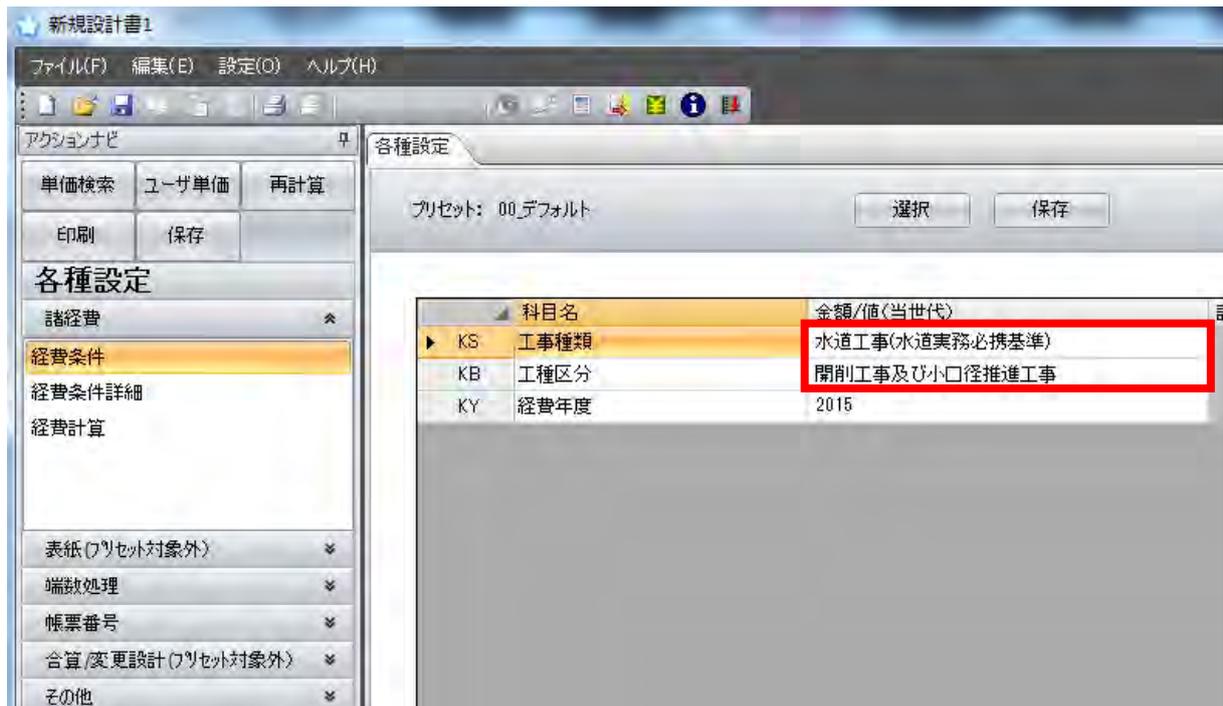
交通誘導警備員の人数と単価を直接入力すれば、共通仮設費の積上額は完成です。

2.経費設定





諸経費画面に移動しました。経費条件をクリックします。



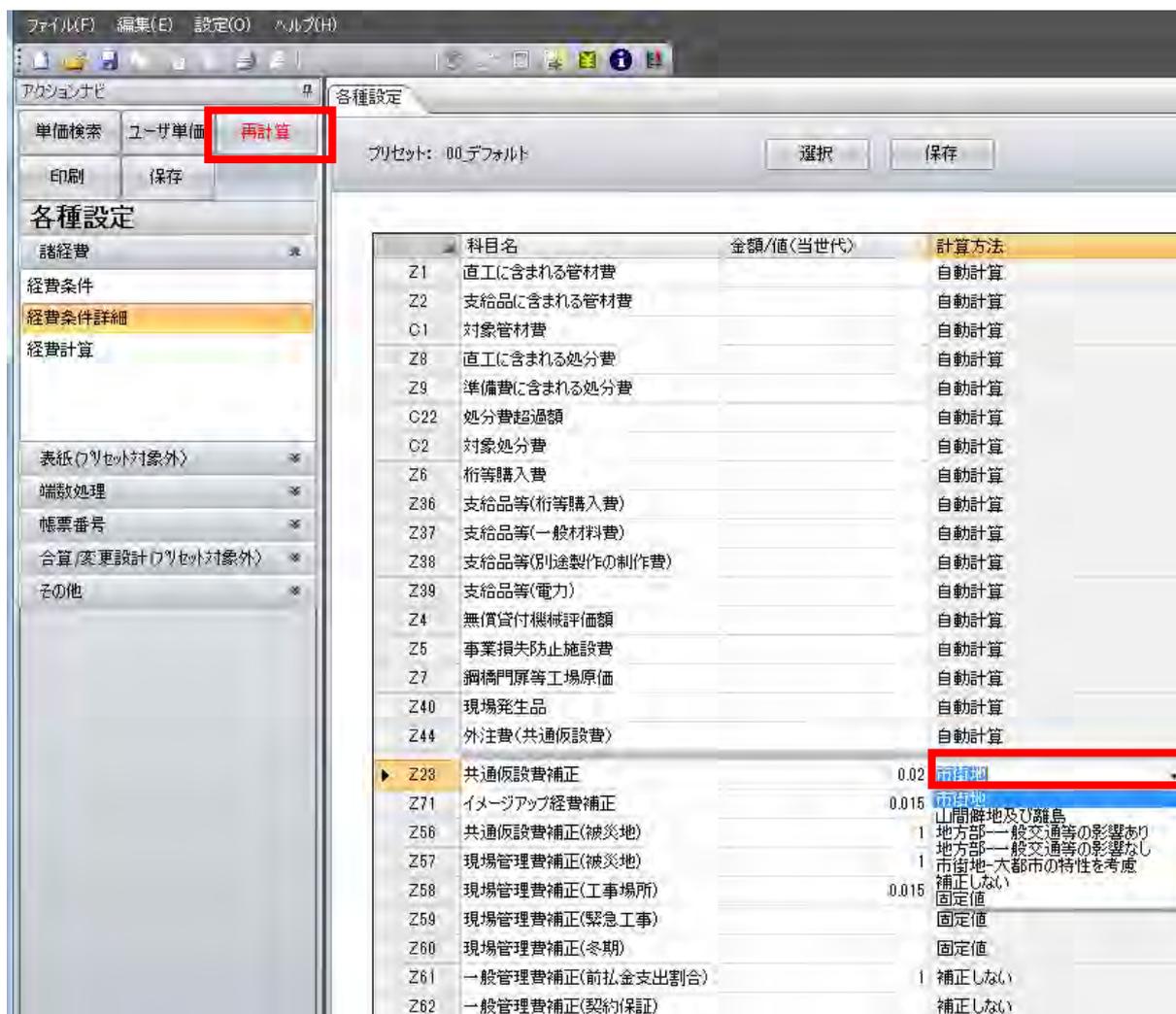
ここではまず初めに、経費条件を設定します。

工事種類、工種区分により経費率が変わってきますので、

設計書や入札公告から適切なものを選択します。

今回は工事種類を「水道工事(水道実務必携基準)」、工種区分を「開削工事」に設定します。

設定の完了後、右下の「次へ」をクリックします。



経費条件詳細画面では、共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します。

文字をクリックすると▼印が出てきます。

共通仮設費補正であれば、▼印をクリックすると各種施工場所が表示されますので、設計書や入札公告から適切なものを選択します。高崎市水道では条件が明記されていないので注意が必要です。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。

変更した経費条件で再計算されます。

Z23	共通仮設費補正	0.02	市街地
Z71	イメージアップ経費補正	0.015	市街地
Z56	共通仮設費補正(被災地)	1	補正しない
Z57	現場管理費補正(被災地)	1	補正しない
Z58	現場管理費補正(工事場所)	0.015	市街地
Z59	現場管理費補正(緊急工事)		固定値
Z60	現場管理費補正(冬期)		固定値
Z61	一般管理費補正(前払金支出割合)	1	補正しない
▶ Z62	一般管理費補正(契約保証)	0.0004	金銭的保証を必要

今回は、共通仮設費補正を「市街地」に。

一般管理費補正(契約保証)を「金銭的保証を必要」に設定します。

共通仮設費補正は施工現場により変わってきますが、

一般管理費補正(契約保証)は「金銭的保証を必要」の条件からほぼ変わることはありません。

3. 管材費の設定

	科目名	金額/値(当世代)
▶ Z1	直工に含まれる管材費	
Z2	支給品に含まれる管材費	
C1	対象管材費	
Z8	直工に含まれる処分費	
Z9	準備費に含まれる処分費	
C22	処分費超過額	
C2	対象処分費	
Z6	桁等購入費	
Z36	支給品等(桁等購入費)	
Z37	支給品等(一般材料費)	
Z38	支給品等(別途製作の制作費)	
Z39	支給品等(電力)	
Z4	無償貸付機械評価額	
Z5	事業損失防止施設費	
Z7	鋼橋門扉等工場原価	
Z40	現場発生品	
Z44	外注費(共通仮設費)	

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、最後に管材費の計上を行います。

金額を直接入力することも出来ますが、スリーブ被覆工のように手間と管材費が複合になっているものもあり直接入力の手間です。

「頂」では管材費にチェックを入れることで自動集計が可能です。

右下の「**直接工事費へ**」をクリックしてください。直接工事費の画面に移動します。



行番	種別	名称	規格	単	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値
1	①	φ75配水管布設工					448,257				管:148071
2	②	材料費					102,100				管:102100
▶ 3	代	材料費		式	1	102,100	102,100	第1号単価表	代価第59号	管材費	管:102100

直接工事費の「φ75配水管布設工 材料費」を管材費に設定します。
集計対象の欄をクリックすると▼印が出てきます。

集計対象

▼

管材費

▼

- 変更なし
- 管材費
- 刃分費
- 桁等購入費
- 支給品等(管材費)
- 支給品等(桁等購入費)
- 支給品等(一般材料費)
- 支給品等(別途製作の制作費)
- 支給品等(電力)
- 無償貸付機械評価額
- 鋼橋門扉等工場原価
- 現場発生品
- 外注費(共通仮設費)
- ダム工事に含まれる支給電力料
- ダム工事に含まれる無償貸付機械評価額

▼印をクリックしますと集計対象一覧表が呼び出されます。
管材費をクリックし選択します。キーボード「Enter」ボタンで入力完了です。

行番	種別	名称	規格	単	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値
1	①	φ75配水管布設工					448,257				管:102100
2	②	材料費					102,100				管:102100
3	代	材料費		式	1	102,100	102,100	第1号単価表	代価第59号	管材費	管:102100
4	②	土工					286,222				
5	代	土工		式	1	286,222	286,222	第2号単価表	代価第2号		
6	②	管工					59,935				
▶ 7	代	管工		式	1	59,935	59,935	第3号単価表	代価第62号		

管工にはポリエチレンスリーブ被覆工があり、代価表にはスリーブ、固定用バンドが含まれています。スリーブ、固定用バンドは管材費として扱われていますので、集計対象で管材費に設定します。まずは行番をダブルクリックし代価表の画面へ移動します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	集計対象	集計値
1	単	配管工		人	0.25	18,300	4,575		
2	単	普通作業員		人	0.25	17,300	4,325		
3	単	ポリエチレンスリーブ(参考単価)	φ75	m	125	141	17,625	管材費	管:17625
▶ 4	単	固定用ゴムバンド(参考単価)	φ75	組	175	67	11,725	管材費	管:11725
5	目	諸雑費		式	1	0	0	変更なし 管材費 処分費	

ポリエチレンスリーブ被覆工のスリーブと固定用バンドを、集計対象で管材費に設定します。全ての管材費を設定したら、諸経費画面に戻り管材費の計上を確認します。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ Z1 直工に含まれる管材費	102,100	自動計算
Z2 支給品に含まれる管材費		自動計算
C1 対象管材費	51,050	自動計算
Z8 直工に含まれる処分費		自動計算
Z9 準備費に含まれる処分費		自動計算
C22 処分費超過額		自動計算
C2 対象処分費		自動計算
Z6 桁等購入費		自動計算
Z36 支給品等(桁等購入費)		自動計算
Z37 支給品等(一般材料費)		自動計算
Z38 支給品等(別途製作の制作費)		自動計算
Z39 支給品等(電力)		自動計算
Z4 無償貸付機械評価額		自動計算
Z5 事業損失防止施設費		自動計算
Z7 鋼橋門扉等工場原価		自動計算
Z40 現場発生品		自動計算
Z44 外注費(共通仮設費)		自動計算

集計対象を管材費に設定した項目は自動で計上されます。

管材費の半額が経費計算の対象額となります。

単価更新機能

1. 前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する

① 単価を更新したい既存設計書を開く

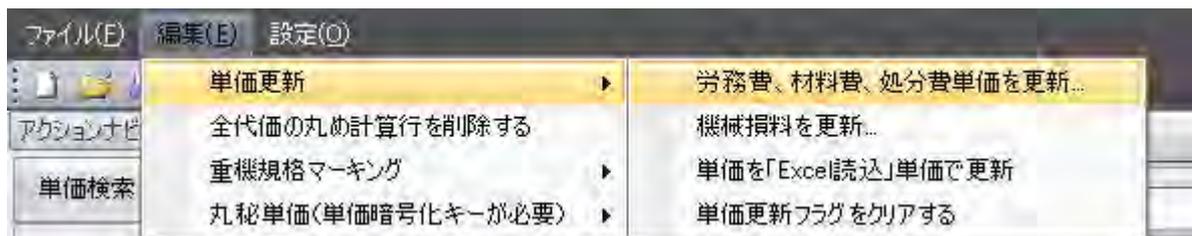
工事費内訳		管9556506/処1205619						
行番	種別	名称	規格	単	数量	単価	金額	摘要
1	①	φ150mm布設替工事		式	1		19,594,191	
2	内	φ150mm材料費		式	1	6,985,890	6,985,890	第1号明細表
3	内	φ150mm土工		式	1	9,655,665	9,655,665	第2号明細表
4	内	φ150mm管布設工		式	1	1,481,632	1,481,632	第3号明細表
5	内	φ150mm弁類設置工		式	1	502,703	502,703	第4号明細表
6	内	φ150mm管撤去工		式	1	504,648	504,648	第5号明細表
7	内	φ150mm仮設工		式	1	463,653	463,653	第6号明細表
8	①	φ150mm仮給水工		式	1		1,006,040	
9	内	仮設本管工		式	1	1,006,040	1,006,040	第7号明細表
10	①	付帯工		式	1		3,407,620	
11	内	舗装本復旧工	市道簡易	式	1	3,204,502	3,204,502	第8号明細表
12	内	路面表示・区画線工		式	1	203,118	203,118	第9号明細表
13	①	φ150mm給水管取付替工事		式	1		2,969,432	
14	内	φ150mm給水管取付替工事		式	1	2,969,432	2,969,432	第10号明細表
15	①	φ150mm消火栓設置工事		式	1		366,800	
16	内	消火栓材料費		式	1	170,138	170,138	第11号明細表
17	内	消火栓土工		式	1	31,121	31,121	第12号明細表
18	内	消火栓設置工		式	1	12,057	12,057	第13号明細表

② 単価一覧をクリック

行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	【労務費】					9,235,863
2	交通誘導警備員B		人	85	10,900	926,500
3	土木一般世話役		人	29.483	22,200	654,522
4	普通作業員		人	168.99	18,300	3,092,517
5	特殊運転手		人	44.449	22,000	977,878
6	一般運転手		人	99.275	19,100	1,896,152
7	特殊作業員		人	51.413	20,600	1,059,107
8	配管工		人	27.865	20,000	557,300

単価一覧が開きます

③ メニューバーの「編集」をクリック

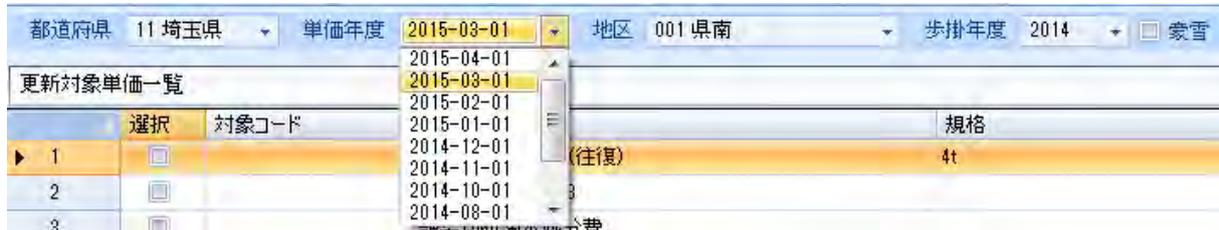


④ 「単価更新」をクリックし、「労務費、材料費、処分費単価を更新…」を選択します。

更新単価対象一覧画面が出ます。

⑤ 更新したい単価年度を選択

⑥ 更新したい地区を選択



チェックが入っている行が更新対象です。

選択	対象コード	名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	使用コード
<input type="checkbox"/>		鑄鉄管用エアーストップ止水用サドル	φ150	台	42,900	0		
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000001643	土木一般世話役		人	22,200	22,200		Y0000000050
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000001625	普通作業員		人	18,300	18,300		Y0000000020
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000001636	特殊運転手		人	22,000	22,000		Y0000000040
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000000277	密油		kg	128	93		Y0007000000
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000001637	般運転手		人	19,100	19,100		Y0000000050
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000000600	生粒度調整砕石	RM40-0	m ³	1,650	1,650		Y0000000000
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000001624	特殊作業員		人	20,600	20,600		Y0000000010
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000000275	レギュラガリノスド	レギュラガリノスド	kg	148	115		Y0000000000
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0730101015	クラックレブ	40~0mm	m ³	1,250	1,250		Y0000000010
<input checked="" type="checkbox"/>	Y0000000031	アスファルト混合物	再生密粒度(13)	t	10,900	10,900		Y0000000000
<input checked="" type="checkbox"/>	Y000000014	トカカクレド	径22(φ56cm)	枚	81,500	81,500		Y0000000060
<input checked="" type="checkbox"/>	Y000000006	手工溶解式(手動)【材工共】	実線・セウラ15cm	m	295	295		Y0000000015
<input checked="" type="checkbox"/>	Y00000000	乳剤	PK3 プラム用	kg	94	91		Y0000000010

旧単価から新単価に更新されます

⑦ 「転送」をクリックで
単価更新が完了します

この例では「鑄鉄用エアーストップ止水用サドル」の名称、規格が
単価検索データと一致しないので更新対象外となります

単価一覧画面に戻ります。

更新された単価の行は青く表示されます。

行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	【労務費】					9,235,863
2	交通誘導警備員B		人	85	10,900	926,500
3	土木一般世話役		人	29.483	22,200	654,522
4	普通作業員		人	168.99	18,300	3,092,517
5	特殊運転手		人	44.449	22,000	977,878
6	一般運転手		人	99.275	19,100	1,896,152
7	特殊作業員		人	51.413	20,600	1,059,107
8	配管工		人	27.865	20,000	557,300
9	鷹工		人	0.191	24,000	4,584

補足説明

(1)更新の対象は、「労務単価」「材料単価」「市場単価」「処分費」です。

「機械損料」は更新されません。機械損料の更新につきましては、メニューバーの「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「**機械損料を更新…**」を選択し、更新してください。

(2)単価が更新されるのは、単価の「名称」「規格」「単位」が頂の単価検索システム内のデータと一致する場合のみです

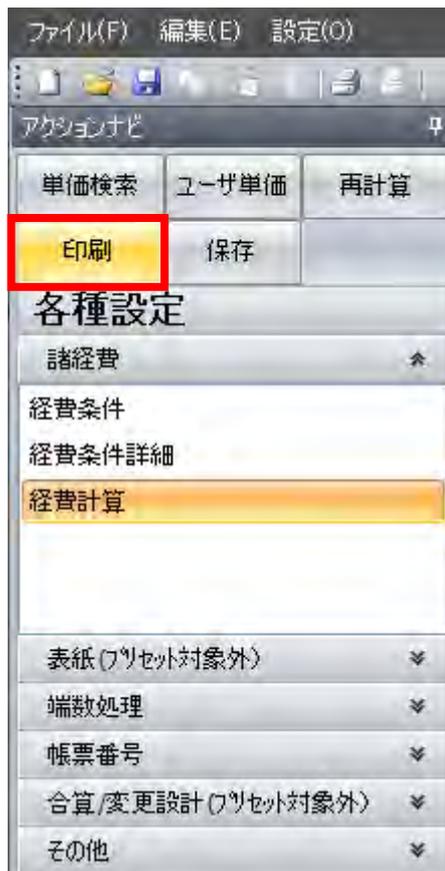
(3)一度更新した単価は元に戻すことはできません。

(4)ユーザ独自単価で単価更新を行う場合は、「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「**単価をExcel読み込み単価で更新**」をクリックし転送で更新できます。

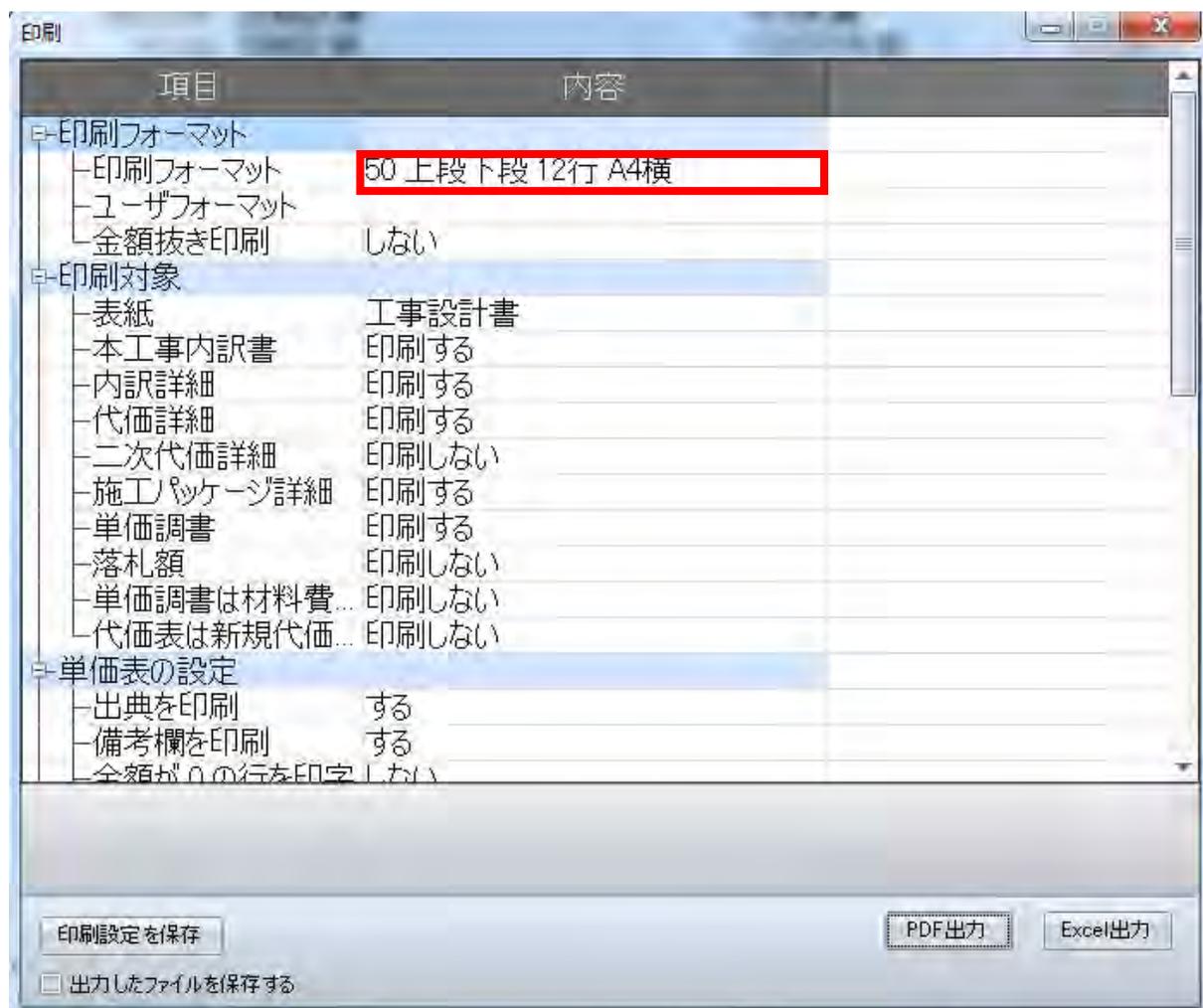
(5)青いフラグを消すには、メニューバーの「編集」から「単価更新」のプルダウンメニューから「**単価更新フラグをクリアする**」を選択してください。

印刷

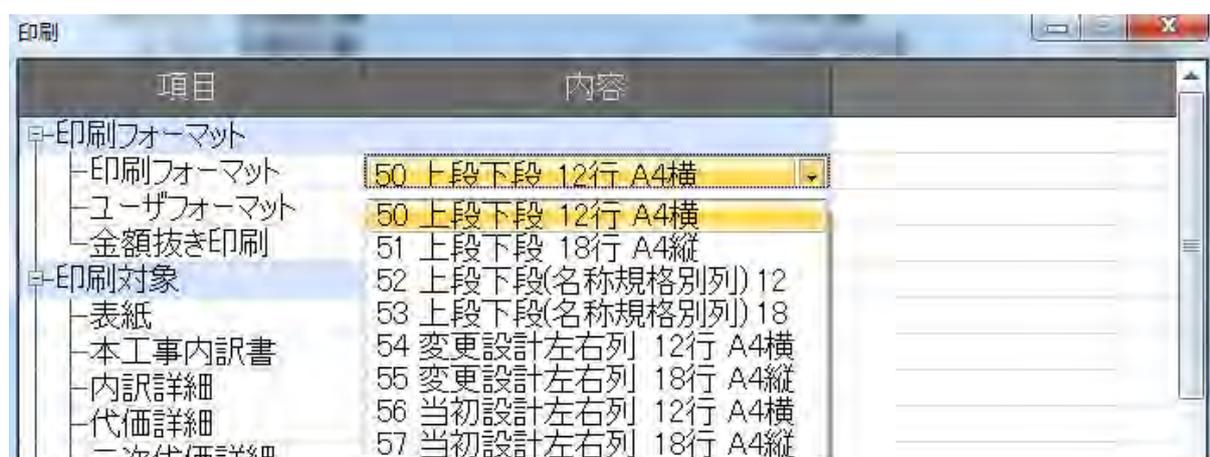
1.印刷設定



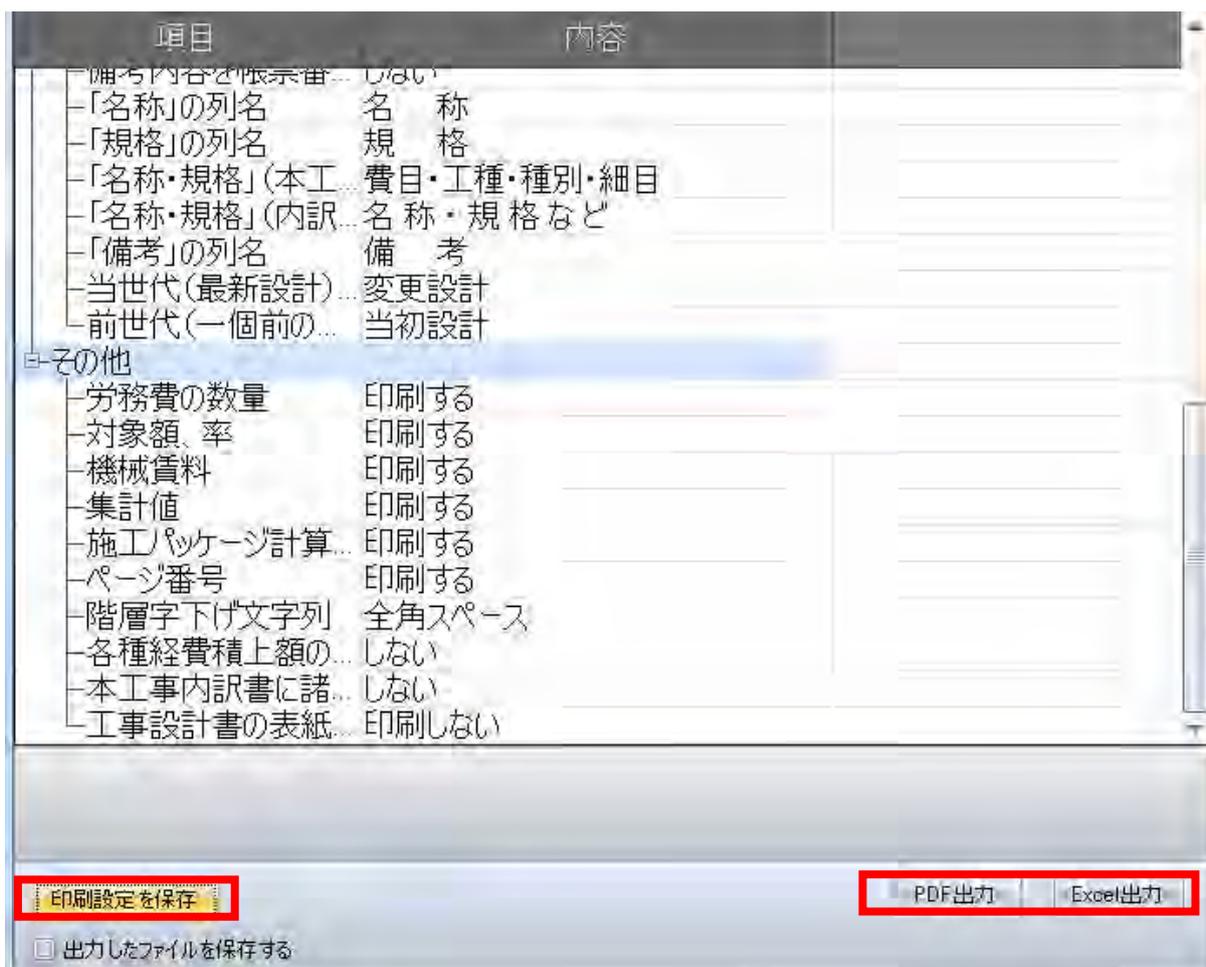
画面左の「印刷」をクリックすると印刷設定画面へ移動します。



文字をクリックしますと設定一覧表が呼び出されます。



▼印をクリックしますと選択した設定に変更されます。
 ここでは、「50 上段下段 12行 A4横」に設定します。



「印刷設定を保存」ボタンをクリックすると、現在設定した状態を保存できます。
次回からは、設定した状態が呼び出されます。

「PDF出力」

設計書をPDFで保存します。

「Excel出力」

設計書をExcel で保存します。

